Panasonic

DVDビデオカメラ

取扱説明書

品番 VDR-M10

上手に使って上手に節電

保証書別添付

本機で撮影・再生するには、8cmDVD-RAM規格およびDVDビデオレコーディング規格に準拠した8cm DVD-RAMディスクが必要です。

このたびは、DVDビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9115

もくじ

まずは撮って見る

まず、家庭用コンセントから電源をとって撮影・再生してみましょう。本格的にお使いになるときは、「準備」や「撮る」の章をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

▶▶ お願い ◀◀

- **まず P.24「付属品の確認」をお読みのうえ、付属品がすべてそろっていることを確認してください。**

ここで使用するもの

ビデオカメラ本体

AC アダプター

DC コード

電源コード

8cmDVD-RAM ディスク

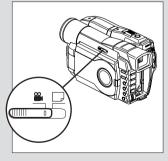
AC アダプター・DC コード・電源コードは、別売のアクセサリーキット(VW-PDM10)に付属のものをお使いください。
バッテリーパックをお使いになるときは、P.38 を参照してバッテリーパックを充電してください。

撮影してみる

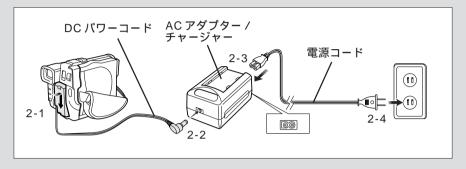
1. 記録モードスイッチが動画モード( )に設定されていることを確認します。

2. ビデオカメラに A C アダプター／チャージャーを接続します。

2-1 DC パワーコードのカメラ接続側の端子をビデオカメラのバッテリー取り付け部に取り付けます。

バッテリー取り付け部の上端に DC パワーコードの上端を合わせ、ビデオカメラに押し付けながら下方向へ「カチッ」と音がするまでずらしてください。

2-2 DC パワーコードのもう一方の端子を AC アダプター／チャージャーの DC 出力端子（DC OUT）に差し込みます。

2-3 電源コードを AC アダプター／チャージャーの AC 入力端子（AC IN）に差し込みます。

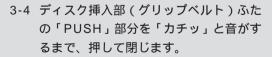
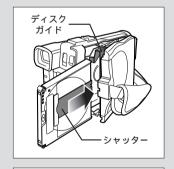
2-4 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

3. DVD-RAM ディスクをカートリッジのまま入れます。

3-1 電源スイッチを OFF のまま「取出し」ボタンを押し下げると、ディスク挿入部（グリップベルト）のふたが少し開きます。

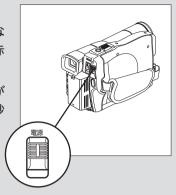
3-2 ふたを手で開きます。

3-3 DVD-RAM ディスクの記録したい面（A 面または B 面）をグリップベルト側に向け（☞ P.35）、カートリッジのシャッター側を奥にしてディスクガイドに挿入します。

途中で 1 回止まりますが、ロックされるところまでゆっくり挿入してください。

3-4 ディスク挿入部（グリップベルト）ふたの「PUSH」部分を「カチッ」と音がするまで、押して閉じます。

4. 電源を入れます。

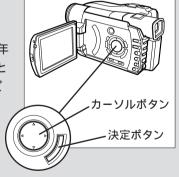
電源スイッチをスイッチ中央のボタンを押しながら、1回押し下げます。ボタンの中央部に赤いランプがつきます。

電源を入れると、ビューファインダーに映像が映り、ディスクの認識を開始します。約25秒程度で記録一時停止状態になります。

（出荷時の日付は2000/1/1になっています）

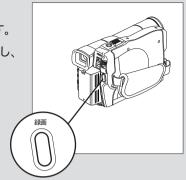
hint ヒント hint

- **ビューファインダーで見る場合は、ビューファインダーをいっぱいに引き伸ばし、適切な角度に調整して目をアイカップに当てて、視度調節つまみで調節してください（☞ P.57）。液晶画面を開けば、映像を液晶画面で確認することもできます。**

5. 日付と時刻を設定します（☞ P.51）。

初めて本機に電源を入れたときは、「2000年1月1日」に設定されています。正しい日付と時刻を設定せずに撮影すると、「ディスクナビゲーションの使いかた」で説明するプログラム、シーンの日付と時刻が正しく記録されません。詳しい設定方法はP.51「日付と時刻を設定する」を参照してください。

6. 撮影します。

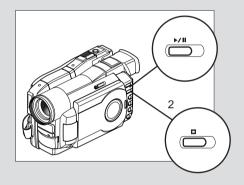
「録画」ボタンを押すと、撮影が始まります。

もう一度「録画」ボタンを押すと撮影が終了し、記録一時停止状態になります。

再生してみる

1. 記録一時停止状態で、▶/II を押します。

ビデオカメラが再生モードになり、撮った映像の最初の場面から表示されます。

hint ヒント hint

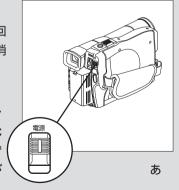
- **撮った映像を本格的に再生したり編集するときには、ディスクナビゲーション（☞ P.95）を使用すると便利です。**

2. 停止します。

□ を押すと再生が停止し、記録一時停止状態になります。

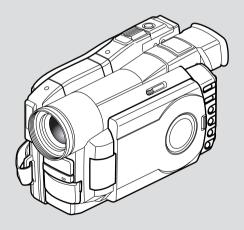
3. 電源を切ります。

電源スイッチ中央のボタンを押しながら、1回押し下げます。ボタン中央部の赤いランプが消えます。

ランプが消えるまで少し時間がかかります。

電源スイッチ中央のランプおよび動作中ランプが完全に消えるまでバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを取り外さないでください。記録したデータが壊れるおそれがります。

あ

安全・他

本機の特長

DVD-RAM ディスクに録画

本機は、DVD-RAM ディスク使用の DVD ビデオカメラです。撮影した映像・音声は、両面で約 2.8GB の記録が可能な 8cmDVD-RAM ディスクに記録されます。
DVD-RAM ディスクを採用しているため、誤って重ね撮りで消してしまう心配もなく、大切な映像や画像をいつまでも美しく保存できます。また、ビデオテープと違って早送りや巻き戻しの必要がないため、すぐに撮影・再生ができます。
その他、8cmDVD-RAM 対応の DVD-RAM ドライブとソフトを搭載したパソコンでは、ディスクをセットするだけで簡単に録画した映像を楽しむことができます。

動画と静止画の撮影

従来のビデオカメラと同様、楽しいイベントやスポーツなどを動画（ビデオ）で撮影できます。また、普通のデジタルカメラと同様に、静止画も撮れます。110 万画素の高画質 CCD を搭載しているため、動画・静止画とも高画質で記録できます。動画・静止画いずれも光学 12 倍×デジタル 4 倍ズームによる最大 48 倍のズーム撮影ができ、記録モードを切り換えるだけで、1 枚のディスク上に動画と静止画を混在させて記録できます。

記録した映像や画像をその場で確認

撮影中の映像や画像を、ビューファインダーだけでなく液晶画面でも確認でき、撮影状況に応じて使い分けることができます。また、撮影結果をその場で簡単に確認することもできます。

カメラだけでさまざまに編集

本機には、ディスクナビゲーションという便利な編集・再生ツールが用意されており、これを使えば、撮影した映像や画像にタイトルやメモ、映像効果などを簡単に付けることができます。また、再生の順序を入れ換えたり、複数の映像を編集して連続再生ができるため、パソコンに取り込んで編集しなくても、本機だけでちょっとしたムービー作品を作成できます。

いろいろな機器と接続して楽しむ

本機をテレビにつないで、大画面の映像を大勢で楽しむことができます。また、記録した映像・音声のデータをパソコンに取り込んで、マルチメディアコンテンツやインターネットのホームページの素材などとして活用することもできます※。撮影した静止画は、パソコンに取り込んでカラープリンターで印刷するだけでなく、市販のデジタルフォトプリンターにつないで印刷することもできます。

※別売のDVDビデオカメラ用パソコン静止画キット/VW-DTD1(近日発売予定 2000年11月現在)、または対応したDVD-RAMドライブを搭載したパソコンが必要です。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

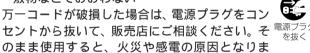
絵表示	内容
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」はビデオカメラに共通のものです。記載されているビデオカメラの図は、実物と多少異なりますがご了承ください。

⚠ 危険	
乾電池の取り扱いに注意する	乾電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。 ・火や水の中に投入しない ・火に近づけたり、加熱しない ・ショートさせない ・鍵などの金属物と接触させない ・分解・改造しない ・衝撃を与えない ・種類の異なるものを使用しない ・新しいものと古いものを混ぜて使わない ・高温場所（60℃以上）で使用しない 万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。 禁止
バッテリーパックの取り扱いに注意する	発熱・破裂・火災・液漏れなどの原因となるので、バッテリーパックを取り扱う際には、次のことを守ってください。 ・火のそばや炎天下で充電しない ・指定外のACアダプター／チャージャーで充電しない ・指定外のバッテリーパックを使わない 禁止

⚠警告		
異常なときは使わない	煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、ただちに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター／チャージャーなどの電源を外してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。修理については、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にお止めください。 ビデオカメラを落としたりして強い衝撃を与えると、ケースが破損し、異常な状態になることがあります。	禁止 電源プラグを抜く
分解・改造しない、カバーを開けない	ビデオカメラ・ACアダプター／チャージャーを分解・改造すると、火災や感電の原因となります。カバーの内部には、電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	分解禁止
内部に異物を入れない	ビデオカメラ・ACアダプター／チャージャーの内部に水や金属類、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。万一異物が内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター／チャージャー・電源コードを外して販売店にご相談ください。	禁止 電源プラグを抜く
自動車などの運転中は使わない	自動車・オートバイ・自転車などの運転中に撮影や再生をしないでください。交通事故の原因となります。	禁止
歩きながら使うときは、周囲の状況に注意する	歩きながら使用すると、転倒や交通事故の原因となることがあります。また、不安定な場所での撮影は、転倒や転落などにより事故や大けがの原因となります。撮影するときは、周囲の状況に注意を払ってください。	⚠
雷が鳴るときは使わない	屋外で使用中に雷が鳴り出したら、安全のため使用を中止してください。	禁止
ACアダプター／チャージャーを水にぬらさない	風呂場やシャワー室などの水のかかるところでACアダプター／チャージャーを使用しないでください。火災や感電の原因となります。	
ACアダプター／チャージャーは電源コンセントの近くで使用する	ACアダプター／チャージャーは、電源コンセントの近くで使用してください。タンスの裏や机の下など、手の届きにくいところの電源コンセントには差し込まないでください。	⚠

⚠警告

ACアダプター／チャージャーのケースを破損しない	万一落としたりしてケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜く
ACアダプター／チャージャーは風通しのよい広い所で使用する	ACアダプター／チャージャーは、風通しのよい広い所で使用してください。内部に熱がこもり、ケースが変形するだけでなく、火災・やけど・感電・故障のおそれがあります。周囲の風通しをさえぎるせまい所や、物の近く、またはその中で使用しないでください。	禁止
電源コードを破損しない	電源コードを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。 ・刃物などで傷つけない ・ねじらない ・無理に曲げない ・重いものや角が鋭利なものをのせない ・加熱しない ・引っ張らない ・加工しない ・束ねない ・敷物などでおおわない 万一コードが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	禁止 電源プラグを抜く
電源プラグは完全に接続する	電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因となります。	
たこ足配線をしない	火災の原因となります。	禁止
電源プラグに異物を付着させない	電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因となります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。	
市販の電子式変圧器は使わない	海外旅行用に市販されている電子式変圧器にACアダプター／チャージャーを接続しないでください。火災や感電の原因となります。	禁止

⚠警告

ショルダーストラップを首に巻きつけない	窒息の原因となります。	禁止
同梱品のビニール袋に注意する	同梱品が包装されているビニール袋をかぶると、窒息の原因となります。	

⚠注意

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトは正しく取り付ける	取り付けかたが不完全なまま使用すると、落下などにより、けがの原因となることがあります。	
水にぬらさない	本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因となります。雨天時、降雪時、海岸や水辺での使用時には、特にご注意ください。	水ぬれ禁止
レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けない	レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けたままにしておくと、集光により発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
航空機の中では使わない	航空機の中など、使用を制限または禁止されているところでは使用しないでください。本機の出す電磁波により、航空機の計器類に影響を及ぼすことがあります。	
幼児の手の届くところに置かない	ディスク挿入部のふたなどに手をはさまれて、けがの原因となることがあります。お子様が触らないようご注意ください。	
内部の部品にふれない	ディスク挿入部のふたを開けて、中に指を入れたり、内部の部品にふれたりしないでください。けがの原因や故障の原因となることがあります。	禁止
不安定な場所で三脚を使わない	倒れてけがの原因となります。	禁止
三脚を付けたまま持ち運ばない	持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんでビデオカメラが落下し、けがの原因となることがあります。	禁止

⚠注意

かゆみ・かぶれ・湿疹などに注意する	お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、ただちに使用を止め医師の診断を受けて下さい。	⚠
ビデオカメラを落とさない	ガラス部分が壊れ、けがの原因となることがあります。またバッテリーパックが破損すると、液漏れにより、けがや周囲の汚損の原因となります。	禁止
電源コードや接続ケーブルに注意する	電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒したりけがの原因となることがあります。	⚠
DVD-RAMディスクの取り出しに注意する	DVD-RAMディスクは、長時間使用すると高温になります。電源を切って十分時間が経ってから取り出すようにしてください。	⚠
電源コードを引っ張って抜かない	コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。	禁止
ぬれた手でプラグの抜き差しをしない	ACアダプター／チャージャーのプラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源コードを熱器具に近づけない	コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。	禁止
長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントにつないだまま長期間放置すると、火災の原因となることがあります。	電源プラグを抜く
ACアダプター／チャージャーを振動の多いところに置かない	振動によって内部部品が破損すると、発熱し、火災や故障の原因となることがあります。	禁止
ACアダプター／チャージャーをほこりや湿気の多いところに置かない	内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となることがあります。	禁止
ACアダプター／チャージャーを油煙や湿気の当たるところに置かない	調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。	禁止

⚠注意

AC アダプター／チャージャーの充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない	熱で外装ケースが変形し内部で発熱すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。	禁止
乾電池の向きに注意する	リモコンに電池を入れるときは、極性に注意してください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れを招き、火災やけが、やけど、汚損の原因となります。 万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。	⚠
バッテリーパックや乾電池の保管場所に気をつける	直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。	⚠
乾電池に直接ハンダ付けしない	火災や感電の原因となることがあります。	禁止

使用上のお願い

液晶画面の取り扱いにお気をつけください

- 液晶画面は、とても繊細な表示装置です。壊れやすいので、表面を強く押したり、叩いたり、先の尖ったもので突いたりしないでください。
- 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
- 液晶画面を下側にしてビデオカメラを置かないでください。
- ビデオカメラを使用しないときは、液晶画面を閉じておいてください。

液晶画面・ビューファインダーについて

- **液晶画面・ビューファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。**
  【液晶画面・ビューファインダーの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります】
- 寒冷地など本体が冷えきっている場合や電源を入れた直後は、液晶画面やビューファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

正しい持ちかたをしてください

ビューファインダーや液晶画面をつかんで本機を持ち上げると、ビューファインダーや液晶画面が外れて、本機が落下することがあります。

衝撃を与えないよう、お気をつけください

- 本機は精密機械です。硬いものにぶつけたり、落としたりしないよう、十分注意して取り扱ってください。
- 三脚に固定して使用するときは、極度に振動、衝撃の大きいところで使用しないでください。

砂やほこりがかからないよう、お気をつけください

細かい砂やほこりがビデオカメラ・AC アダプター／チャージャーの内部に入ると、故障の原因となります。

水や油がかからないよう、お気をつけください

ビデオカメラ・AC アダプター／チャージャーの内部に水や油が入ると、感電や故障の原因となります。

製品表面の熱について

本機は製品表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。特にカメラ底部が熱くなりますので触れるときには、お気をつけください。

環境の温度にお気をつけください

- 気温４0℃以上の暑いところや、0℃以下の寒いところで使用すると、正常に撮影／再生できないことがあります。
- 海岸の砂の上や締め切った車内などに長時間放置すると、故障するおそれがあります。

太陽に向けてはいけません

- レンズやビューファインダーに直射日光が当たると、本機が故障したり火災が発生するおそれがあります。
- 液晶画面を直射日光に当てたまま放置すると、故障の原因となります。

テレビやラジオの近くで使わないでください

テレビ画面にノイズが出たり、ラジオに雑音が入ることがあります。

強い電波や磁気のあるところで使わないでください

電波塔の近くやモーターが含まれる電化製品のそばなど、強い電波や磁気のあるところで使用すると、映像・画像・音声の記録時に雑音が入ることがあります。また、正常に記録されている映像・画像・音声でも、再生時に雑音が入ることがあります。ビデオカメラが故障することもあります。

油煙や湯気の多いところで使わないでください

本体ケースが変形したり、故障の原因となります。

腐食性ガスがあるところで使わないでください

ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン等の排気ガスや硫化水素のような腐食性のガスがあるところで使用すると、バッテリーパック取付け端子が腐食し、電源が入らなくなることがあります。

超音波加湿器の近くで使わないでください

加湿器に入っている水の水質によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機の光学ヘッドに白い粉として付着して、本機が正常に動作しなくなることがあります。

殺虫剤などがかからないようにしてください

本機の内部に殺虫剤などが入ると、光ヘッドが汚れ、本機が正常に動作しなくなることがあります。殺虫剤等を使用するときは、本機の電源を切り、ビニールシート等でカバーしてください。

ディスク挿入部から本機の内部をのぞき込まないでください

本機では、レーザー光を使ってデータが読み書きされています。本機からディスクを取り出すときなどに、ディスク挿入部から本機の内部をのぞき込むと、レーザー光が目に入って、目を傷めることがあります。

露つきにお気をつけください

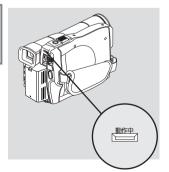
スキー場のゲレンデからロッジに入ったり、冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズやビデオカメラの内部に結露（暖かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。できるだけディスク挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いた布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1〜2時間以上放置して、乾いてからお使いください。

長時間の連続使用について

- 本機は一般のご家庭での撮影／再生を目的として作られています。監視カメラやモニターとして長時間連続して使用することはできません。
- 長時間連続して使用した結果、温度が一定限度を超えて上昇すると、記録・再生動作が遅くなることがあります。この場合は、電源を切ってしばらく経ってから使用してください。

動作中ランプが点滅しているときは、ビデオカメラの電源を切らないでください

動作中ランプが点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、ディスクカートリッジを入れたまま、再度電源を入れてください。

- 動作中ランプが点滅しているときは、DVD-RAM ディスクにデータが書き込まれたり、読み出されたりしています。このときに以下のことをするとデータが壊れるおそれがあります。
- バッテリーパックを取り外す
- ACアダプター／チャージャーとの接続を外す
- PC 接続ケーブル（別売）を抜き差しする
- DVD-RAM ディスクを取り出す

本体ケースをベンジンやシンナーなどでふかないでください

・ 本体ケースの塗装がはがれたり、変形することがあります。
・ 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きに従ってください。

別売アクセサリーの説明書もお読みください

別売のアクセサリーについては、それぞれの注意書きや取扱説明書の指示に従ってください。

保管上のお願い

非常に高温になるところに長時間放置しないでください

締め切った車内やトランク内は、非常に高温になります。そのような場所に置いたままにすると、本機が故障したり、本体が変形したりするおそれがあります。また、直射日光が当たるところや熱器具の近くにも置かないでください。

湿気やほこりの多いところで保管しないでください

ビデオカメラの内部にほこりが入ると、故障の原因となります。また、湿気が多いと、レンズにカビが生えて使えなくなることがあります。押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に箱に入れることをお勧めします。

強力な磁気や激しい振動のあるところに置かないでください

故障の原因となります。

バッテリーパックは、ビデオカメラから取り外して涼しいところで保管してください

取り付けたままにしたり、高温のところで保管すると、バッテリーパックの寿命を縮める原因となります。

使う前に

ためし撮りをしましょう

本番前に必ずためし撮りをして、正常に記録されることを確認してください。本機の故障のため正常に記録できなかったデータは復元できません。

録画内容の補償はできません

本機や DVD-RAM ディスクの不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。

著作権について

お客様が他のデジタル／アナログのメディア／機器から本機の DVD-RAM ディスクに記録したデータは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。また、実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、お気をつけください。

本書について

本書内の写真について

本書内では、ビューファインダーや液晶画面に映る映像の説明に、デジタルスチルカメラで撮った写真を使用しています。実際にご覧になれる映像とは異なることをご了承ください。

メニュー画面について

本書の操作説明の中では、「記録一時停止状態のときに、メニューボタンを押します。」と記載されていますが、DVD-RAM ディスクを本機に入れていない状態でも、メニューボタンを押せばメニュー画面が出ます。

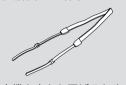
本書内の表記について

本書では以下のような表記となっています。

- AC アダプター ➡ AC アダプター／チャージャー
- DC コード ➡ DC パワーコード
- S 映像コード ➡ S 端子ケーブル
- 映像 / 音声コード ➡ AV 入出力ケーブル
- ショルダーベルト ➡ ショルダーストラップ

付属品の確認

箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

ショルダーベルト

本機を肩から下げるためにビデオカメラに取り付けます。

リモコン

本機を遠隔操作するときに使用します。

リモコン用単３乾電池２個

リモコン用の電池です。

映像 / 音声コード
(ミニジャック対応)

本機の映像と音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像と音声を入出力するときに使用します。

S 映像コード

S 映像を入出力するときに使用します。

レンズキャップ
レンズキャップひも

撮影していないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

8cmDVD-RAMディスク

本機の映像と音声を記録します。このディスクは初期化済みです。

フェライトコア１個

映像/音声コードに取り付けます。

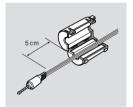
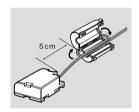
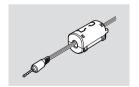
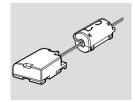
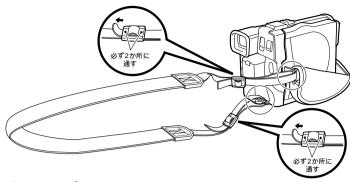
AC アダプター・バッテリーパック・DC コード・電源コードは、別売のアクセサリーキット(VW-PDM10)に付属しています。

フェライトコアを取り付けましょう

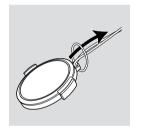
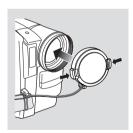
AV入出力ケーブルとDCパワーコードをお使いになる前に、必ず付属のフェライトコアを取り付けてください。
本書内のAV入出力ケーブルとDCパワーコードのイラストにはフェライトコアが取り付けられていませんが、お使いになる前に以下の手順で必ず取り付けてください。
フェライトコアは、ラジオやテレビなどへの電波妨害を低減するためのものです。

1. コアのカバーを開きます。

2. コアをAV入出力ケーブル、DCパワーコードの端から約5cmのところに、取り付けます。

AV入出力ケーブルの場合

DCパワーコードの場合 (1回巻きつけます)

3. AV入出力ケーブル、DCパワーコードをはさまないように、コアのカバーを閉じます。

ショルダーストラップを付けましょう

レンズキャップを付けましょう

付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。

1. 本機とレンズキャップを、ひもで結びます。

2. レンズキャップの両サイドを押しながらレンズに取り付けます。

▶▶ お願い ◀◀

- **本機を使用しないときは、レンズ保護のために必ずレンズキャップを付けてください。**

hint ヒント hint

撮影するときは、レンズキャップ内側のつめをグリップベルトに取り付けておくと便利です。

各部の名称

ズームレバー
(P.62、65)

フォトショットボタン
(シャッター)(P.80)

光学12倍ズームレンズ

記録モードスイッチ
(P.62、64、80)

レンズフード
(P.63)

フラッシュ
(P.82)

ステレオ
マイク

情報液晶画面
(P.61、147)

リモコン
受光部 (P.54)

3.5型カラー液晶画面
(P.58)

タリーランプ
(P.87)

S映像
入出力端子
(P.140)

再生/一時停止ボタン
(P.91)

ふたの中

AV入出力
端子
(P.138、140)

AV入出力
S映像入出力
マイク
PC接続

停止ボタン
(P.91)

正方向「サーチ」ボタン
(P.93)

マイク端子
(P.78)

逆方向「サーチ」ボタン
(P.91、93)

PC接続端子
(P.147)

正方向「スキップ」ボタン
(P.92)

逆方向「スキップ」ボタン
(P.92)

動作中ランプ
(P.21)
電源スイッチ
(P.46、51、57)
取出しボタン
(P.46)
アイカップ
(P.57)
ビュー
ファインダー
(P.40、57)
グリップベルト
(P.47、56)
「録画」ボタン
(P.62、64)
下部
バッテリー取り付け部
(P.40)
プログラムAE
PUSH
露出
フォーカス
メニュー
押
「PUSH（バッテリー取り出し）」ボタン
(P.41、62)
「プログラムAE」ボタン
(P.62、70)
「露出（明るさ）」ボタン
(P.62、76)
「フォーカス」ボタン
(P.62、72、88)
視度調節つまみ
(P.57)
「メニュー」ボタン
(P.23、51、62)
選択ダイヤル
(P.51、59、62、99)

カーソルボタン
(P.67、99、102)
「メニュー」ボタン
(P.67、99)
「ディスクナビゲーション」ボタン
(P.98)
「削除」ボタン
(P.99、106、107)
「範囲選択」
ボタン
(P.99、103)
3.5型
カラー液晶画面
(P.58)
スピーカー
「キャンセル」ボタン
(P.99、118、120)
「決定」ボタン
(P.67、99、104)
「リセット」ボタン
(P.132)
「液晶明るさ」ボタン
(P.59)
「画面表示」ボタン (P.61、94)

「再生／一時停止」ボタン(P.91)
「停止」ボタン(P.91)
「巻戻し」ボタン
(P.91、93)
「早送り」ボタン(P.93)
逆方向「頭出し」ボタン(P.92)
正方向「頭出し」ボタン(P.92)
「画面表示」ボタン(P.61、94)
「表示出力」ボタン
(P.139)
「撮影開始/停止」
ボタン(P.64)
「フォトショット」
ボタン(P.80)
「デジタルズーム」
ボタン(P.66)
「音量」ボタン
(P.91、94)
「ズーム」ボタン
(P.65)
「ディスクナビゲーション」
ボタン(P.98)
「削除」ボタン
(P.106、107)
「決定」ボタン
(P.104)
「メニュー」ボタン
(P.67、100)
「範囲選択」ボタン
(P.103)
「キャンセル」ボタン
(P.118、120)
カーソルボタン
(P.102)
画面表示
表示出力
撮影
開始/停止
フォトショット
再生/一時停止
巻戻し
早送り
停止
頭出し
デジタルズーム
音量
ズーム
ディスク ナビゲーション
削除
メニュー
決定
範囲選択
キャンセル

DVD-RAMディスクについて

DVDとは

DVDはDigital Versatile Discの略語で、直訳すればデジタル多用途ディスクという意味になります。高画質のデータを大量に記録できることから、コンピュータやゲーム機器業界からも注目され始めました。同時に、これまで映像・サウンド・データでそれぞれ異なっていた記録フォーマットを統一することで、互換性の高い開かれたマルチメディアの実現も期待されています。そうした状況下でDVDフォーラムが発足し、世界各国の200社以上が参加して、あらゆる分野の要望を取り入れながら、次世代のユニバーサルメディアとしての規格化が進められています。この規格に準拠した製品としては、AV分野での普及が目覚ましいDVD-Videoをはじめ、コンピュータ用としてのDVD-ROM（再生専用)、DVD-R（追記型)、DVD-RAM（書き換え可能型）などがあり、いずれもCDと同じ直径12cmのディスクが採用されています。

DVD-RAMの規格について

平成12年11月時点で流通している12cmDVD-RAMディスクは、DVD-RAM規格Book1.0に準拠した、片面の記憶容量が2.6GBのディスクがほとんどです。DVDフォーラムでは1999年に新たなBook2.1の規格を策定しており、より大容量の片面4.7GBの12cmディスク、およびこれと同密度の片面1.4GBの8cmディスクが規定されています。このBook2.1の規格に準拠した8cmDVD-RAMディスクは、そのコンパクトさと大容量のため、デジタル記録メディアとして期待されており、本機は、家庭用デジタルビデオカメラ用として採用しております。

DVD-RAM規格のBook	Book2.1		Book1.0
直径	12cm	8cm	12cm
記録容量	片面 4.7GB 両面 9.4GB	片面 1.4GB 両面 2.8GB	片面 2.6GB 両面 5.2GB
転送速度	22.16Mbps		11.08Mbps
使用レーザー	650nm赤色レーザー		

DVD ビデオレコーディング規格について

本機は、DVD ビデオレコーディング規格にも準拠しています。DVD ビデオレコーディング規格とは、1999 年に DVD フォーラムで策定された DVD-RAM などの書き換え型 DVD ディスクを使ったビデオ録画のための統一規格で、再生専用の DVD-Video 規格をもとに、映像のリアルタイム書き込み、映像の追加書き込み、編集などの機能を規格化したものです。

対応する機器と今後の動向

このように、DVD-RAM 規格 Book2.1 および DVD ビデオレコーディング規格といった最新の規格に準拠しているため、本機で使用する DVD-RAM ディスクは、平成 12 年 11 月時点で市販されている DVD プレーヤーや DVD-RAM ドライブではご利用いただけない場合がほとんどですが、今後発売される一部の DVD プレーヤーや一部の DVD ドライブは、本規格のディスクの再生や読み書きに対応する予定です。
そうした機器の登場を待たなくても本機のデータをパソコンに取り込んでご利用いただけるよう、本機には、最近のパソコン（PC/AT 互換機）に装備されているUSB インタフェースを介して接続するための DVD ビデオカメラ用パソコン静止画キット（別売品）も用意されています。

使用できる DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクには、ビデオカメラ用途と PC 用途の 2 種類があります。本機をご利用になるときは、必ずビデオカメラ用途（A V 用）と記載された 8cmDVD-RAM ディスク（片面 1.4GB、両面 2.8GB）をお使いください。
ビデオカメラ用途（AV用）のディスクのほとんどは、中のディスクをカートリッジから取り出して記録することができます。一方 PC 用途のディスクは、中のディスクをカートリッジから取り出せないもの、取り出すことができても記録できないものがあります。詳しくはディスクに付属の取扱説明書をお読みになるか、ディスクのメーカーにお問い合わせください。

●本機で使用できないディスクの例

PC 用途の 8cm DVD-RAM ディスク、CD、DVD-ROM、DVD-Video、MO、MD、iD、フロッピーディスクなど

DVD-RAM ディスクの初期化（フォーマット）について

本機では、UDF Ver.2.01ファイルシステムの規格に従って初期化（フォーマット）されたAV用のDVD-RAMディスクを使用します。初期化されていないDVD-RAM ディスクには記録できません。
DVD-RAMディスクを初期化する手順については、P.134「DVD-RAMディスクを初期化する」をご覧ください。

DVD-RAM ディスクの取り扱いについて

- DVD-RAMディスクは、長時間連続して使用すると、本機内部の熱により高温になります。ディスク取り出し口の金属やカートリッジの金属シャッターも高温になるので、取り出し時にはお気をつけください。
- DVD-RAMディスクは、非常に繊細な記録メディアです。本機で使用するときは、カートリッジに入れたままお使いください。
- 不必要にカートリッジからディスクを出したり、カートリッジのシャッターを開けたりしないでください。
- ディスクの表面には、決してさわらないでください。
- ディスクに傷や汚れをつけないよう、十分お気をつけください。
- カートリッジを落とさないよう、お気をつけください。
- 結露させないでください。
- 保管するときは、カートリッジをプラスチックケースに入れてください。

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が長時間当たるところ
- 湿気、ほこりが多いところ
- 暖房器具などの熱が当たるところ

録画内容について

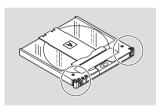
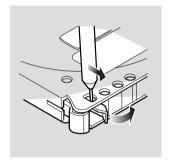
お客様または第三者が DVD-RAM ディスクの使いかたを誤ったりしたときに、録画した内容が消失することがあります。録画した内容の消失による損害の補償については、ご容赦ください。

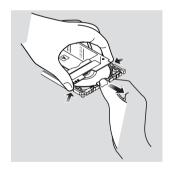
DVD-RAM ディスクをカートリッジから取り出すとき

本機で使用するＤＶＤ-ＲＡＭ ディスクは、カートリッジから取り出して、8cmDVD-RAM 対応の DVD-RAM ドライブ、DVD プレーヤー、DVD レコーダーなどで利用することができます。カートリッジからの取り出しかたの詳細については、ディスクの取扱説明書を参照してください。
付属のディスクの取り出しかたは、以下のとおりです。

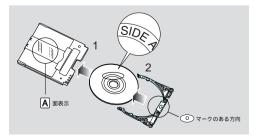
●ディスクの取り出しかた

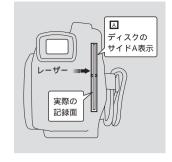
1. カートリッジのロックピンを外します。

ロックピンは、SIDE A、SIDE B の左下にそれぞれ 1 個ずつあります。

先の細いものなどで、図の矢印①の方向へスライドさせ、矢印②の方向へ回転させて折ります。

2. 解除レバーを両側から内側へ向けて押しながら、ディスクトレイの中央部をつまんで手前に引き出します。

●ディスクの入れかた

1. ディスクをカートリッジに挿入します。

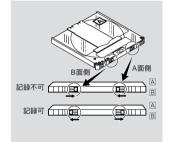
2. ディスクトレイを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

hint ヒント hint

- 実際の SIDE A 記録面は「SIDE A」と表示のある面の反対になります。

▶▶ お願い ◀◀

- カートリッジからディスクを取り出して、本機以外の機器で本機が保存した内容を書き換えた場合、再びカートリッジに戻して本機で使用すると、記録・再生・ディスクナビゲーションが正常に動作しなくなることがあります。
  貴重な映像を撮影する場合は、必ずカートリッジから取り出していない新品のディスクをご使用ください。
- 市販8cmDVD-RAMディスクは、ビデオカメラ用であれば、ほとんどがカートリッジから取り出して利用できますが、取り出す前にディスクに付属の説明書をご覧になるか、ディスクのメーカーに問い合わせてご確認ください。
  また、取り出したディスクは以下のことに気をつけてお取り扱いください。
  ・ディスクの表面にさわらない。
  ・ディスクを落とさない。
  ・絶対に曲げない。
  ・裸のまま放置しない。
  ・熱を加えない。
  ・表面にマジック・ボールペン・鉛筆などで文字を書かない。
  ・表面をシンナー・水・帯電防止剤などでふかない。
  付着したほこり、汚れなどは、乾いた柔らかい布を使用し、軽くふき取ってください。なお、溶剤類は絶対に使用しないでください。

- カートリッジは高密度に記録できるディスクの表面を保護するために取り付けられています。カートリッジから取り出したディスクは、再びカートリッジに戻して本機で使用できますが、以下の取り扱いを必ず守るようにお願いします。
- カートリッジに戻す前に、ディスクの表面に傷・汚れ・指紋がないことを必ず確認してください。
- ディスク表面をクリーニングしても、傷・汚れ・指紋が取れないディスクは、記録・編集・削除をしないようにしてください。
- ディスクをカートリッジに装着するときには、カチッと音がするまで、はめ込んでください。
- 簡単な編集や削除でも記録と同様の書き込みが行なわれています。カートリッジから取り出したディスクの場合は、確実に編集や削除ができたかを確認してください。

●ライトプロテクトタブ

DVD-RAMディスクカートリッジには、ライトプロテクトタブがあり、記録したデータを保護できます。撮影するときは、ライトプロテクトタブが「記録可」になっていることをご確認ください。

▶▶ お願い ◀◀

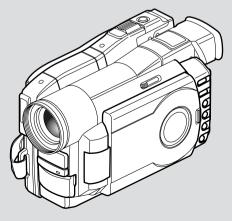
- ディスクの記録は、原理的にディスク表面のゴミ・傷・汚れなどによりブロックノイズが発生する場合があります。これは不良ではありません。ディスクには、汚れや指紋を付けないようにお気をつけください。
- ディスク表面のゴミ・傷・汚れがある場合、その記録できない部分を避けて記録する機能があります。(一時停止（●II）し、自動で記録（●REC）再開します)。その結果、数秒から数分程度の記録の中断が発生し、図のように一回の記録で複数のサムネイル（☞ P.96）ができます。この場合、記録可能な時間が減少します。

(一回の記録でも 2 つ以上のサムネイルになることがあります。)

準　備

準備を始める前に、P.24「付属品の確認」をご覧のうえ、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

ビデオカメラを屋外で使用するときは、バッテリーパックから電源をとります。バッテリーパックの充電をしながら、ビデオカメラを使用する準備をしましょう。

2

バッテリーパックの準備

お買い上げ時は、別売のアクセサリーキット(VW-PDM10)に付属のバッテリーパックは充電されていません。充電してからお使いください。

▶▶ お願い ◀◀

- **バッテリーパックは、別売のアクセサリーキットに付属のものか、以下の品番のものをお使いください。**
  VW-VBD33/VW-VBD25
  上記以外のバッテリーパックをご使用になると、ビデオカメラが故障したり、火災が発生するおそれがあります。

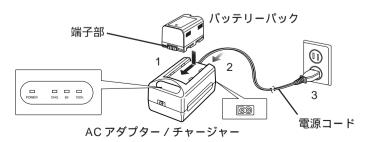
バッテリーパックを充電する

バッテリーパックは、別売のアクセサリーキットに付属の AC アダプター／チャージャーを使って充電します。

▶▶ お願い ◀◀

- **ACアダプター／チャージャーにDCパワーコードが接続されていると充電できません。充電する場合は、DC パワーコードを取り外してください。**
- **充電は、気温が 10℃～ 30℃の環境で行なってください。**
- **バッテリーパックの充電には、別売のアクセサリーキットに付属の AC アダプター／チャージャーをお使いください。**
  上記以外の充電器で充電すると、感電したり火災が起こるおそれがあります。

1. バッテリーパックを AC アダプター／チャージャーに取り付けます。
バッテリーパックの端子部を、AC アダプター／チャージャーの DC OUT 側に向けて押し付けながら、図の矢印方向にずらします。

2. 電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぎます。

3. 電源コードをコンセントに接続します。

AC アダプター／チャージャーの POWER ランプが点灯します。

AC アダプター／チャージャーの CHG. ランプが点滅し、充電が始まります（バッテリーパックの残容量により80%ランプが点灯することもあります）。充電開始後しばらくすると、CHG.ランプが点灯に変ります。満充電されると100%ランプが点灯します。

●バッテリーパックの充電時間と撮影可能時間について

ビューファインダー使用時(( )内は液晶画面使用時)

バッテリー品番	電圧/容量	充電時間	連続撮影可能時間		間欠撮影可能時間	
			STNDモード時	FINEモード時	STNDモード時	FINEモード時
アクセサリーキットに付属のバッテリー	7.2V/1500mAh	約1時間30分	約2時間5分(約1時間45分)	約1時間45分(約1時間30分)	約45分(約40分)	約45分(約40分)
VW-VBD33(別売)	7.2V/1500mAh	約1時間30分	約2時間5分(約1時間45分)	約1時間45分(約1時間30分)	約45分(約40分)	約45分(約40分)
VW-VBD25(別売)	7.2V/2800mAh	約2時間50分	約3時間35分(約3時間)	約3時間(約2時間30分)	約1時間25分(約1時間10分)	約1時間25分(約1時間10分)

●アクセサリーキットに付属のバッテリーはVW-VBD33と同等品です。

・ 上表は常温(温度20 ℃/湿度60%)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなります。めやすにしてください。
・ 上表の間欠撮影可能時間とは、撮影、停止などをくり返したときにディスクに記録できる時間です。実際にはこれより短くなることがあります。

出かけるときは余分のバッテリーを準備する

・ 撮影したい時間の 3 〜 4 倍のバッテリーを準備してください。
スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
・ 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。

▶▶ お願い ◀◀

- 充電中や充電直後は、バッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。
- AC アダプター／チャージャーの POWER ランプが点滅するときは、一度バッテリーパックを取り外してから、再度取り付けてください。それでも POWER ランプが点滅するときは、バッテリーパックが故障しているおそれがあります。
- 周囲の温度が低すぎるまたは高すぎるときは、ACアダプター／チャージャーの CHG. ランプ、もしくは CHG.、80%ランプが 6 秒間隔で点滅します。充電はできますが、満充電までの時間が通常より長くかかります。
- 周囲の温度が極端に低すぎるまたは極端に高すぎるときには、ACアダプター／チャージャーの CHG.、80、100%ランプが 1 秒間隔で点滅し、充電ができません。

バッテリーパックを取り付ける

▶▶ お願い ◀◀

- バッテリーパックが確実に取り付けられていることを確認してください。落として壊れるおそれがあります。

1. ビューファインダーをいっぱいに引き出し、上に起こします。

2. バッテリーパックの上面をビデオカメラのバッテリー取り付け部の上面に合わせます。

3. バッテリーパックをビデオカメラに押し付けながら、下方向に「カチッ」と音がするまでずらします。

バッテリーパックを取り外す

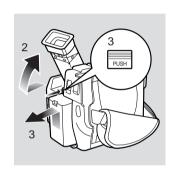
ビデオカメラを使い終わったら、バッテリーパックを取り外しておきます。

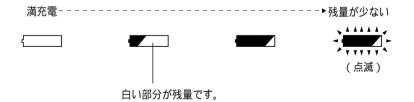
▶▶ お願い ◀◀

- **バッテリーパックの取り付け／取り外しを行なう際には、安全のため、必ずビデオカメラの電源を切ってください。**
- **バッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源を切っていても、ごく微量の電流が流れ、バッテリーパックが消耗します。**

1. ビデオカメラの電源を切ります。

2. ビューファインダーをいっぱいに引き出し、上に起こします。

3. バッテリー取り付け部の上にある「PUSH」ボタンを押しながら、バッテリーパックを上方向にスライドさせて取り外します。

バッテリーパックの残量表示について

バッテリーパックを使用中は、ビューファインダー・液晶画面・情報液晶画面にバッテリーパックの残量が次のように表示されます。
使用状況によっては、点滅しないで電源が切れる場合があります。

情報液晶画面では上記と表示が異なります。P61を参照してください。

バッテリーパックを上手に使うために

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

必ず指定のバッテリーパック（☞ P.38）をお使いください

指定外のバッテリーパックをお使いになると、ビデオカメラが故障したり、火災が発生するおそれがあります。

お使いになる直前に充電してください

バッテリーパックを充電した状態で保管すると、自然に放電してしまいます。ビデオカメラの使用後は充電しないで、お使いになる前の日などに充電することをお勧めします。
充電する前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

冷暗所で保管してください

気温の高い場所で保管すると、バッテリーパックの寿命が短くなります。特に６０℃以上になる環境（閉め切った車内など）で保管すると、バッテリーパックが故障するおそれがありますので、絶対におやめください。

長期間使用しないときは

１年に１回程度満充電し、ビデオカメラに取り付けた状態で使い切ってから、取り外して涼しい場所に再度保管することをお勧めします。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックの寿命は、ご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの取り扱い

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、
廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先
●最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ
　詳しくは社団法人電池工業会にご確認ください。電話：03-3434-0261
●または、お買い上げの販売店へ

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い
●端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
●分解しないでリサイクル箱へ

	以下のようなことは危険ですので、絶対に行なわないでください。 ・　バッテリーパックの端子間をショートさせる。 ・　バッテリーパックを分解／改造する。 ・　バッテリーパックを火中に投じる。

コンセントにつないで使う

ビデオカメラを設定したり、映像を再生・編集したり、あるいはパソコンにデータを取り込むなど、本機を室内で使用するときは、家庭用のコンセントから電源をとることをお勧めします。

- **ACアダプター／チャージャーは､別売のアクセサリーキット(VW-PDM10)に付属のものをお使いください｡**
  上記以外のACアダプター／チャージャーを使用すると､感電したり火災が起きるおそれがあります｡

1. DCパワーコードのカメラ接続側をビデオカメラのバッテリー取り付け部に取り付けます。

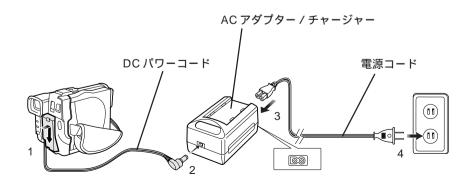
バッテリー取り付け部の上端に DC パワーコードの上端を合わせ、ビデオカメラに押し付けながら下方向へ「カチッ」と音がするまでずらします。

2. DC パワーコードのもう一方の端子を AC アダプター／チャージャーの DC 出力端子（DC OUT）に差し込みます。

3. 電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぎます。

4. 電源コードをコンセントに接続します。

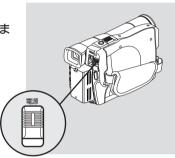
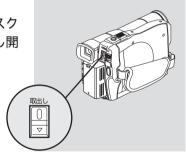
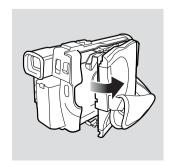
AC アダプター／チャージャーの「ＰＯＷＥＲ」ランプが点灯します。

お願い

- プラグをコンセントに差してもACアダプター／チャージャーの「POWER」ランプが点灯しないときは、プラグをいったんコンセントから抜き、しばらく待ってから差し直してください。それでも「POWER」ランプが点灯しない場合は、ACアダプター／チャージャーの故障と思われます。プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

ビデオカメラの準備

DVD-RAM ディスクを入れる

本機では、撮影した映像と音声を DVD-RAM ディスクに記録します。
AV 用の 8cmDVD-RAM ディスクは初期化されていますが、初期化されていない DVD-RAM ディスクをお使いになるときは、あらかじめ初期化しておく必要があります（☞ P.134）。

1. 電源が切れていることを確認します。
電源スイッチ中央部の赤いランプが消えています。

2.「取出し」ボタンを押し下げると、ディスク挿入部（グリップベルト）のふたが少し開きます。

3. ふたを開くところまで、手でゆっくり開きます。

4. DVD-RAM ディスクをカートリッジのまま、記録したい面（☞ P.35）をグリップベルト側に向け、シャッター側を奥にしてディスクガイドに挿入します。

途中で1回止まりますが、ロックされるところまでゆっくり挿入してください。

▶▶ お願い ◀◀

- **DVD-RAM ディスクを挿入する方向は決まっています。誤った方向に無理に挿入すると、本機やカートリッジが破損するおそれがあるので、お気をつけください。**

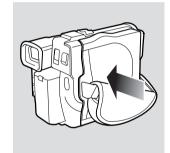
5. ディスク挿入部（グリップベルト）ふたの「PUSH」部を「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押して閉じます。

▶▶ お願い ◀◀

- **ディスクが正しく挿入されていないと、ふたは閉まりません。ふたが閉まらない場合は、ディスクを取り出して、もう一度挿入してください。**

6. 電源を入れてください。

電源を入れると、ビューファインダーに映像が映り、ディスクの認識を開始します。約25秒後に記録一時停止状態になります。

P.60「撮影時の表示について」の「残り記録時間／撮影枚数」でディスク残量を確認してください。

（動画の場合）

▶▶ お願い ◀◀

- **下記の場合は、ディスクを入れてから撮影できるようになるまでに、通常より時間がかかります。**
  - **ディスク挿入部のふたを開いたとき**
  - **日付が変わったとき（一日の最初の記録）**
  - **前回撮影した状態から、温度が約10℃以上変わったとき**
  - **傷・汚れ・指紋のあるディスクを入れたとき**

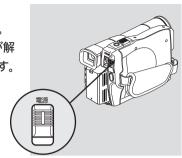
DVD-RAM ディスクを取り出す

1. 電源を切ってください。

電源スイッチ中央部の赤いランプが消えます。「カチッ」という音がしてディスクのロックが解除され、ディスクを取り出せるようになります。

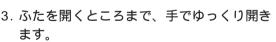
- 動作中ランプが点灯中は、動作しません。

▶▶ お願い ◀◀

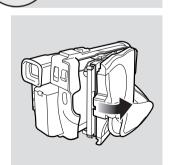
- **操作音が2回鳴るまで、バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを取り外さないでください。**
- **電源を切るには、電源スイッチで切ってください。バッテリーパックを取り外して電源を切ると、ディスクのデータが壊れるおそれがあります。**

2.「取出し」ボタンを押し下げると、ディスク挿入部（グリップベルト）のふたが少し開きます。

- 動作中ランプが点灯中は、動作しません。

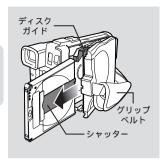
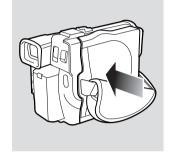
取出し

3. ふたを開くところまで、手でゆっくり開きます。

ふたが開くと、ディスクガイドからディスクが少し出て、止まります。

▶▶ お願い ◀◀

- **DVD-RAM ディスクを取り出すときは、カメラのバッテリー取り付け部側を下に向けないでください。ディスクを落とすおそれがあります。**

4. DVD-RAMディスクを取り出します。

▶▶ お願い ◀◀

- ディスクのシャッター部は非常に高温になります。取り出すときにお気をつけください。

5. ディスク挿入部（グリップベルト）のふたの「PUSH」部を「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押して閉じます。

hint ヒント hint

- 電源が入った状態でも、記録中でなければ、「取出し」ボタンの中央部にあるボタンを2秒以上押しつづけると、「カチッ」という音がしてディスクのロックが解除され、ディスクを取り出せるようになります（このとき、液晶画面またはビューファインダーの「EJECT」表示が白からピンクに変わります）。ただし、誤操作防止のため、ディスクの出し入れ時は電源を切ることをお勧めします。

▶▶ お願い ◀◀

- ディスク挿入部には、8cmDVD-RAMディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクが取り出せない場合は、ACアダプター／チャージャーなどから電源をとり、電源スイッチを入／切し、ディスクのロックが解除される音がしてから取り出してください。
- DVD-RAMディスクの回転が完全に止まらないと、「取出し」ボタンを押し下げてもディスクが出てきません。ロックが解除される音がしてから、しばらく待って、もう一度取出しボタンを押し下げてください。
- ディスクがロックされる所まで挿入された状態からディスクをすぐに取り出す場合は、一度ふたを閉じてから、ふたを開けて取り出してください。

● DVD-RAM ディスクの記録容量

本機で使用する 8cmDVD-RAM ディスク 1 枚に記録できる動画・静止画は、それぞれ以下のとおりです。撮影する時間や条件に合わせて、ディスクをご用意ください。

DVD-RAM ディスク 1 枚の動画の録画時間

記録モード	録画時間
FINE（MPEG2 約 6Mbps）	片面約 30 分
STND（MPEG2 約 3Mbps）	片面約 60 分

※動画のみを記録した場合（ただし、映像と音声を含む）

● DVD-RAM ディスク 1 枚の静止画の撮影枚数

片面最大 999 枚（片面に静止画のみを記録した場合）

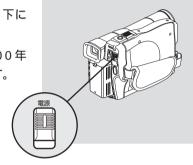
ただし 999 枚記録後でも、ディスク残量が残っていれば、動画では記録できます。記録モードスイッチを動画に切り換えて撮影してください。
サムネイルの最大数は 999 シーンです。
999シーンを超えても撮影はできますが、新たにサムネイルは作成されません。
(「シーン」については P.95 を参照してください)

日付と時刻を設定する

撮影日や撮影時刻を正しく記録するために、日付と時刻を正しく設定してください。
正しい日付と時刻を設定することにより、より正しい撮影内容を保存できます。
(一度設定した日付や時刻を修正する場合も、下記の手順で同様に行えます)

1. 電源を入れます。

電源スイッチ中央のボタンを押しながら、下に押し下げます。

初めて本機に電源を入れたときは、「2000年1月1日AM0:00」に設定されています。

2. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

3. 選択ダイヤルで「日付設定」→「日付セット」の順に選択します。

「戻る」が反転表示されています。

4. 選択ダイヤルを回して「セット」を選び、選択ダイヤルを押します。

日付と時刻が表示され、「AM/PM」が反転表示されて点滅しています。

(最初に点滅するものは、そのときの日付の表示方法によって異なります。時刻の左端にあるものが点滅します)

5. そのままでよい場合は、選択ダイヤルを押します。

変更する場合は、選択ダイヤルを回して変更してから、選択ダイヤルを押します。

「時」の数字に点滅が移ります。

（点滅の移動は、そのときの日付の表示方法によって異なります。時刻の左端にあるものから順番に点滅します）

6. 同様の手順で、「分」・「年」・「月」・「日」を合わせます。

最後の数値を設定して選択ダイヤルを押すと、「OK？」が点滅します。

hint ヒント hint

- **途中で間違えたときは、「OK？」が点滅しているときに選択ダイヤルで「セット」に変更し、選択ダイヤルを押すと、はじめからやり直すことができます。**

7. 選択ダイヤルを押して決定した後に、「メニュー」ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

●時報に合わせてセットするには

「分」の数値を現在より少し先に合わせて「OK？」が点滅する状態にしておき、テレビや電話で時報を確認しながら、合わせた時刻になる瞬間に選択ダイヤルを押して設定します。

▶▶ お願い ◀◀

- **日付と時刻の表示方法を変更することもできます（☞ P.130）。**

内蔵電池の充電について

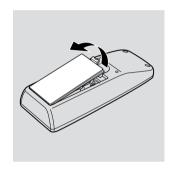
本機は日付と時刻を記憶しておくための電池を内蔵しています。
2カ月に1回、ACアダプター／チャージャーを接続して、電源を切ったまま約24時間放置してください。内蔵電池が充電されます。

リモコンの準備

リモコンは、付属の単３乾電池２個を入れて使用します。本機を離れたところから操作できます。

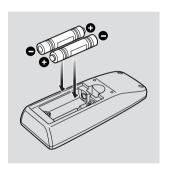
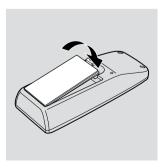
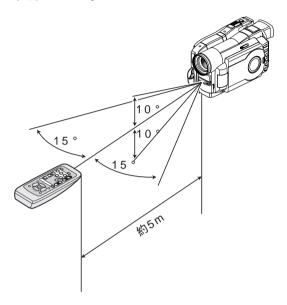
▶▶ お願い ◀◀

- **乾電池が消耗すると、リモコンのボタンを押してもビデオカメラが動作しなくなります。その場合は、新しい乾電池にお取り換えください。**

1. リモコン背面のつまみを押しながら、ふたを開けます。

2. 乾電池 2 本を入れます。

「＋」「－」の表示どおりに入れてください。

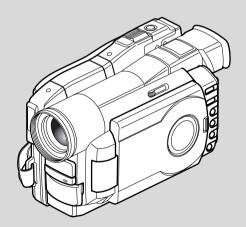
3. ふたを閉めます。

リモコンの使いかた

リモコンはビデオカメラの赤外線受光部に向けて操作してください。リモコンの操作可能距離は、約 5m です。

▶▶ お願い ◀◀

- **リモコンで操作するときは、ビデオカメラの赤外線受光部が直射日光や強い照明などに向かないようにお気をつけください。赤外線受光部にリモコンの赤外線よりも強い光が当たっていると操作できません。**
- **リモコンとビデオカメラの赤外線受光部との間に障害物があると、うまく動作しない場合があります。**
- **本機のリモコンは VDR-M10 専用です。当社の従来のビデオカメラは操作できません。**

撮る

撮影には、動画と静止画の２つのモードがあります。ここでは、それぞれの撮影のしかた、機能の説明をします。

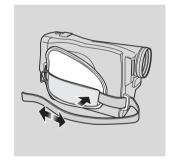
3

ビデオカメラの基本的な扱いかた

持ちかた

1. ビデオカメラの下側から、グリップベルトに右手を差し入れます。

「録画」ボタン、ズームレバーが押しやすい位置にしてください。

●グリップベルトを調節する

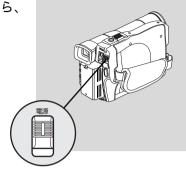
親指で「録画」ボタンを押したときにカメラがぐらつかないように、グリップベルトの長さを調節します。

▶▶ お願い ◀◀

- **ビデオカメラを持ったままグリップベルトを調節しないでください。カメラが落ちて破損するおそれがあります。**
- **ビューファインダーや液晶画面をつかんで持ち上げないでください。ビューファインダーや液晶画面が外れて、本機が落下することがあります。**

電源を入れる

1. 電源スイッチ中央のボタンを押しながら、電源スイッチを 1 回押し下げます。

ボタン中央部の赤いランプが点灯します。

ビデオカメラがディスクの認識を開始し、約 2 5 秒後に記録一時停止状態になります。

ビューファインダーをのぞいてみましょう

1. ビューファインダーをいっぱいに引き伸ばします。

2. 適切な角度に調整して、目をアイカップに当ててください。

▶▶ お願い ◀◀

- **液晶画面が開いているときは、ビューファインダー には何も表示されません。**
- **ビューファインダーを引き伸ばさないと、ビューファインダーに写る映像のピントが合いません。**

●映像がぼやけているときは

アイカップの下にある視度調節つまみを動かして、くっきり見える状態に調整してください。

液晶画面を開いてみましょう

液晶画面を開くと、液晶画面で映像を確認できるようになります。液晶画面が開いているとき、ビューファインダーの表示は消えています。

1. 「OPEN」ボタンを押し、液晶画面を開きます。

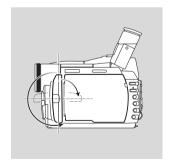
液晶画面は約115°まで開くことができます。

2. 液晶画面が見やすくなるように、角度を上下に調整します。

▶▶ お願い ◀◀

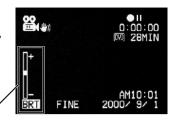
- **液晶画面の上下の角度を変えるときは、必ず液晶画面が約90°開いた状態で行なってください。**

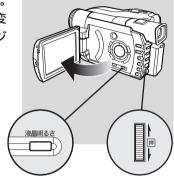
●液晶画面の動く範囲

液晶画面は、約115°まで開くことができます。
約90°以上開いた状態では、下側へ約90°まで倒すことができます。
上側へは180°まで回転させることができます（☞ P.74「自分を撮る」）。

●液晶画面が暗いときは

液晶画面の明るさを調整できます。

1.「液晶明るさ」ボタンを押します。

画面に「BRT」インジケータが表示されます。
（約 3 秒後に自動的に表示が消えます。）

2. 選択ダイヤルを回して明るさを調整します。

選択ダイヤルを回すと、液晶画面の明るさが変わると同時に、画面の「BRT」というインジケータ内のバーの目盛り位置が移動します。

液晶画面を閉じる

1. 液晶画面を閉じるときは、液晶画面をビデオカメラと垂直（開いたときの状態）にしてから閉じます。

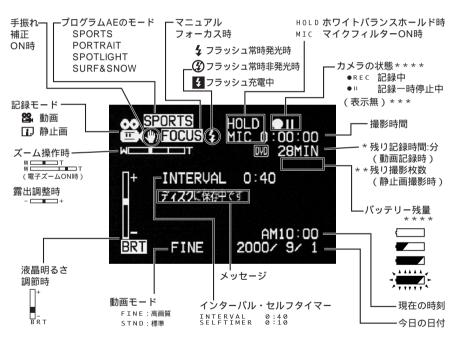
ビデオカメラに「カチッ」とロックされるまで閉じてください。

▶▶ お願い ◀◀

- **液晶画面を閉じるときや、画面を外側へ向けたままビデオカメラに収納するときは、必ず液晶画面を垂直にしてから操作してください。液晶画面が傾いていると、ビデオカメラ側へ閉じることはできません。**
- **液晶画面がビデオカメラにしっかりロックされないと、ビューファインダーに映像は映りません。**

撮影時の情報

ビューファインダーや液晶画面に、撮影に関するいろいろな情報が表示されます。
この情報は、撮影時の条件などを確認するためのもので、映像として記録されることはありません。

撮影時の表示について

＊　ライトプロテクトされたディスクでは、残量が表示されません。また、ディスクが入っていない場合は、DVD マークと残量が表示されません。
＊＊　表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、減る枚数が合わないことがあります。
＊＊＊　ディスクを入れていない状態、初期化されていないディスク、ライトプロテクトされたディスク、残量なしのディスクが入っている状態のみ
＊＊＊＊カメラの状態表示およびバッテリー残量表示は、AV入出力端子からの画像では、色がつきません。

●画面表示モードを切り換える

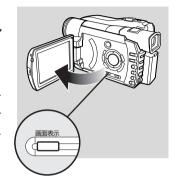
画面に表示される情報の表示モードを 2 段階に切り換えることができます。

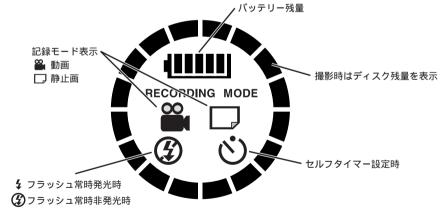
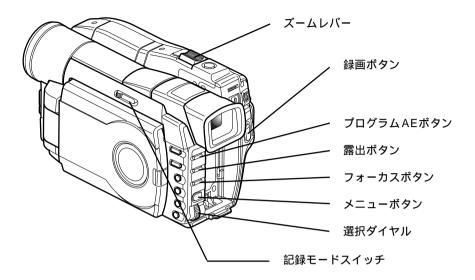
- フル表示モード：すべての情報が表示されます。
- 最小表示モード：記録モード・カメラの状態表示・警告だけが表示されます。

1.「画面表示」ボタンを押します。

フル表示モードと最小表示モードが交互に入れ替わります。

hint ヒント hint

本機では、撮影日時は映像の一部としては記録されません。ただし、撮影時の情報は、データとして映像とともに記録されており、再生時に確認できます
(☞ P.94「再生時の情報」)。

情報液晶画面の表示について

液晶画面を閉じていても、基本的な情報は情報液晶画面に表示されているので、いつでも確認できます。

撮影時に使用するボタン・スイッチ

①ズームレバー
T側に押すと望遠に、W側に押すと広角になります。

②録画ボタン
動画の撮影を開始します。もう一度押すと、撮影が終了します。
（記録モードが静止画のときは、動作しません。）

③プログラム AE ボタン
撮影モードをフルオートモード（無表示）とプログラム AE モードに切り換えます。
選択ダイヤルを上方向に回すと、「SPORTS」→「PORTRAIT」→「SPOTLIGHT」→「SURF&SNOW」の順に切り換わります。

④露出ボタン
露出を調整するときに押します。押したあと、選択ダイヤルを使って調整します。

⑤フォーカスボタン
マニュアルフォーカスに切り換えます。押したあと、選択ダイヤルを使ってピントを調整します。もう一度押すと、オートフォーカスに戻ります。

⑥メニューボタン
カメラの機能などを設定するためのメニューを表示します。もう一度押すと、メニュー表示が消えます。ディスクが入っていない場合でも、メニューが表示されます。

⑦選択ダイヤル
プログラムAE・露出・ピント・液晶画面の明るさなどを調整します。メニューの設定にも使用できます。

⑧記録モードスイッチ
記録モードを動画または静止画に切り換えます。
録画中には切り換えられません。

動画撮影のピント合わせについて

本機では、画面中央の被写体にピントが合うようになっています（オートフォーカス）。電源を入れたときは、必ず設定が「オートフォーカス」になっています。

●ピントの合う範囲

・T 側（望遠側）では、レンズ面より約 1m から無限遠
・W 側（広角側）では、レンズ面より約 1cm から無限遠

次のようなときは、ピントが合わないことがありますので、手動でピントをあわせてください（☞ P.72）。

①中央に被写体がないとき

②遠くと近くに共存する被写体

③ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射するもの

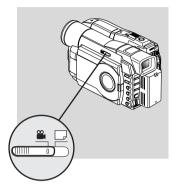
④水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体

⑤動きの速い被写体

⑥白い壁など明暗差がほとんどない被写体
⑦暗い被写体

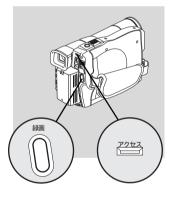
動画（ビデオ）を撮る

1. 記録モードが動画モード（ 🎥 ）になっていることを確認します。

🎥 になっていないときは、記録モードスイッチを 🎥 側に合わせてください。

2. ビューファインダーまたは液晶画面で映像を確認し、「録画」ボタンを押します。

録画中にもう一度「録画」ボタンを押すと、記録一時停止状態になります。

▶▶ お願い ◀◀

- **動作中ランプが点滅しているときは、電源を切らないでください。**
- **動画の最短記録時間は、約 3 秒です。**

hint ヒント hint

いろいろな撮影方法については、P.69「動画のいろいろな撮影方法」を参照してください。

3. 撮影が終了したら、電源を切ります。

▶▶ お願い ◀◀

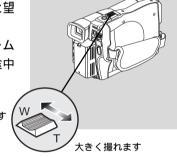
- **万一何らかの不具合により録画・録音・編集されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。**

●パワーセーブとバッテリーの消耗

記録一時停止状態のまま約５分経過すると、自動的に電源が切れます。撮影を再開するときは、もう一度電源を入れてください。
パワーセーブを解除したり、電源が自動的に切れるまでの時間を約３０分に変更することもできます。設定方法は、P.129「パワーセーブを解除する／時間を変更する」をお読みください。
記録一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗します。特にパワーセーブを解除した場合は、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。

ズームの操作

本機では、光学１２倍ズーム×デジタル４倍ズームを使った撮影ができます。

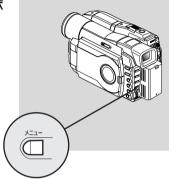
1. ズームレバーを「T」側にスライドしていくと望遠に、「W」側にすると、広角になります。
電子ズームの設定が「ON」のときは(P.66)、ズームレバーを「T」側にスライドし続けると、途中からデジタルズームになります。

広い範囲で撮れます
大きく撮れます

hint ヒント hint

- **ズームを行なったときに、一瞬ピントがずれることがあります。**
- **デジタルズームが加わると、画質が多少粗くなります。**
- **短時間に頻繁に倍率を変えると、映像が見づらくなります。**

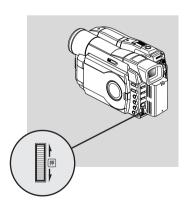
デジタルズームをオフにする

ズームレバーを操作すると、光学12倍を超えたところから、自動的にデジタルズームになります。デジタルズームになると多少画質が粗くなるので、不要な場合は、次の手順でデジタルズームをオフにすることができます。
また、リモコンの「デジタルズーム」ボタンでも、同様に設定が切り換えられます。

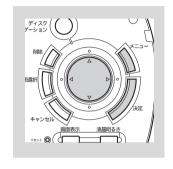
1. 記録一時停止状態のときに、「メニュー」ボタンを押します。

メニュー画面が表示され、「カメラ機能設定」が反転表示されています。

▶▶ お願い ◀◀

記録中は「メニュー」ボタンを押しても、メニュー画面が表示されません。

2. そのまま選択ダイヤルを押します。

カメラ機能に関連するメニューが表示されます。

hint ヒント hint

- **液晶画面を開いているときは選択ダイヤルの代わりに、カーソルボタン、「メニュー」ボタン、「決定」ボタンを押しても、メニューを操作することができます。**

3. 選択ダイヤルを回して反転表示を「電子ズーム」に移し、選択ダイヤルを押します。

右側に選択肢が並び、「ON」が反転表示されています。

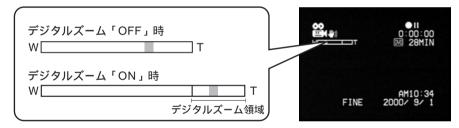
4. 選択ダイヤルを回して「OFF」を反転表示させ、選択ダイヤルを押します。

カメラ機能のメニューに戻り、「電子ズーム」が「OFF」に変わっています。

5.「メニュー」ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

hint ヒント hint

- **続けて別の項目を設定するときは、手順 5 で「メニュー」ボタンを押さずに、他のメニューを選んでください。**
- **デジタルズームが ON か OFF かは、画面情報で確認できます。**
- **ズームインジケータの境界線の位置が、光学 12 倍ズームとデジタル 4 倍ズームの目安です。**

デジタルズームの ON ／ OFF は、電源を切っても記憶されています。

動画のいろいろな撮影方法

状況に合った撮影モードを選ぶ
（プログラム AE のモード切り換え）

本機では、被写体と周囲の状況が自動で判別されて最適な映像が撮影されますが、特殊な状況では、その状況に応じた撮影モードを選択して撮影すると、よりきれいに撮影できます。

スポーツモード（SPORTS）
ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のブレを少なくします。

ポートレートモード（PORTRAIT）
人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライトモード（SPOTLIGHT）
結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ＆スノーモード（SURF&SNOW）
真夏の海辺やスキー場など照り返しが強い場所で、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

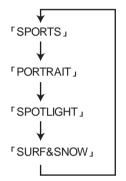
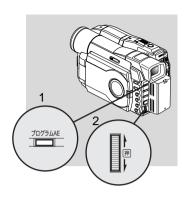
フルオートモード（画面には何も表示されません）
被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。

●撮影モードを切り換える

1. 記録一時停止中に「プログラムAE」ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、プログラムAEのモードとフルオートモードに切り換わります。

2. 選択ダイヤルを回して、プログラム AE のモードを選びます。

ダイヤルを上方向に回すと、以下のように切り換わります。

3. 選択ダイヤルを押します。

選ばれたモードが設定されます。

設定した状態からフルオートモードに戻すには、「プログラム AE」ボタンを 2 回押してください。

設定した撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

hint ヒント hint

- **プログラム AE のモードを設定していないときに撮影モードをプログラム AE モードからフルオートモードに戻すには、もう一度「プログラム AE」ボタンを押してください。**

手振れ補正を切り換える

本機は手振れ補正機能を備えています。ズームで被写体を大きくして撮る場合でも、撮影した映像があまり振れないように自動で補正されます。

hint ヒント hint

- **台の上に置いたり三脚を使用するときは、手振れ補正を解除することをお勧めします。**
- **手振れ補正がかかっていると、実際の動きと画面の動きには若干の差が生じます。**
- **手振れ補正がかかっていても、手振れが大きすぎると補正されないことがあります。**
- **コンバージョンレンズをお使いのときは、手振れ補正が正しく動作しないことがあります。**

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「カメラ機能設定」→「手振れ」の順に選択します。

選択肢が表示され、「ON」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「OFF」に変更し、選択ダイヤルを押します。

カメラ機能のメニューに戻り、「手振れ」が「OFF」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●手振れ補正を確認する

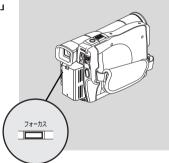
手振れ補正がかかっているかどうかは、画面情報で確認できます。

手振れ補正

手振れ補正の設定は、電源を切っても変わりません。
いつも「OFF」で撮影するのでなければ、撮影後は「ON」に戻してから電源を切ることをお勧めします。
この機能は動画撮影のときのみ有効です。静止画のときには動作しません。

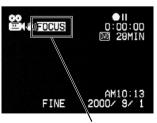
動画撮影のピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス） ●●●

本機では、画面中央にある被写体までの距離が計測されて、自動でピントが合うようになっていますが、特殊な効果をねらったり、被写体を画面中央からはずして撮影する場合などは、手動でピントを合わせることもできます。

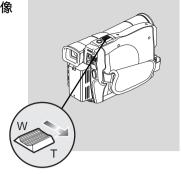
1. 記録一時停止状態のときに、「フォーカス」ボタンを押します。

画面に「FOCUS」と表示されます。

マニュアルフォーカスの表示

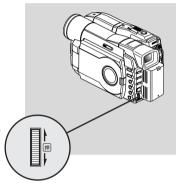
hint ヒント hint

「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。

2. ズームレバーを「T」側にスライドして映像をズームアップします。

▶▶ お願い ◀◀

- **手動でピントを合わせるときは、必ず被写体をズームアップして行なってください。ワイド端でピントを合わせると、ズームアップしたときにピントがずれることがあります。**

3. 画面で映像を確認しながら選択ダイヤルを回してピントを調整します。

4. ピントが合ったら選択ダイヤルを押します。

調整したピントが保存されます。
保存した状態からオートフォーカスに戻すには、「フォーカス」ボタンを 2 回押してください。

5. お好みの大きさまでズームバックしてから撮影してください。

hint ヒント hint

- **マニュアルフォーカスは、電源を切ると解除されます。次に電源を入れたときには、オートフォーカスになっています。**
- **ピントが保存されていないときにマニュアルフォーカスをオートフォーカスに戻すには、もう一度「フォーカス」ボタンを押してください。**

至近距離から撮る（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約1cmまで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

1. 被写体にビデオカメラを向け、記録一時停止状態のときにズームレバーを「W」側にスライドします。

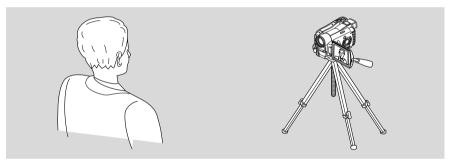
2. レンズを被写体に近づけて、撮影を開始します。

ピントは自動で合います。被写体の大きさを変えるときは、被写体との距離を調整してください。

hint ヒント hint

- **ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。**
- **接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。**

自分を撮る

ビデオカメラを自分に向けて、液晶画面で確認しながら撮影できます。リモコンで操作することもできます。

1. 液晶画面を約90°に開き、レンズ側に向くように回転させます。

2. ビデオカメラまたはリモコンの「撮影開始/停止」ボタンを押して撮影を開始します。

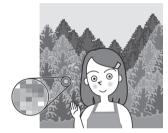
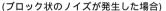
▶▶ お願い ◀◀

- **液晶画面を 180°回転させた状態で本体に密着させて、長時間撮影することはおやめください。本体と液晶画面が熱くなります。**
- **液晶画面を 180°回転させた状態ではビューファインダーに映像は出ません。**

動画の記録モードを切り換える

本機では、動画の記録モードを「FINE」または「STND」に切り換えることができます。**ただし、大切な映像は「FINE」で記録してください。「FINE」にくらべ「STND」では記録時間は増加しますが（☞ P.50）、下記のようなノイズが出やすくなります。**

以下の撮影条件のときには、記録した映像にブロック状のノイズや被写体の輪郭にゆがみが出る場合があります。カメラはできるだけゆっくりと動かすようにしてください。

- 背景に複雑な絵柄(樹木やフェンスなど)がある場合(下図左)
- 本機を大きく、または速くパンニングやチルティングを行う場合
- 本機を動かさなくても被写体が著しく動いている場合

(ブロック状のノイズが発生した場合)　(ブロック状のノイズがない場合)

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「記録モード設定」→「動画モード」の順に選択します。

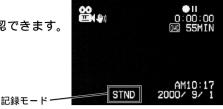
選択肢が表示され、「FINE」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「STND」に変更し、選択ダイヤルを押します。

記録モードのメニューに戻り、「動画モード」が「STND」に変わります。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●記録モードを確認する

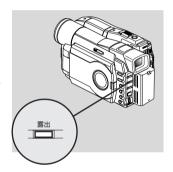
動画の記録モードは、画面の情報で確認できます。

動画の記録モードの設定は、電源を切っても変わりません。いつも「STND」で撮影するのでなければ、「FINE」に戻してから電源を切ることをお勧めします。

露出（明るさ）を手動で調節する ●●●●●●●●●●●●

本機は、周囲の明るさに応じて自動で露出を調整するようになっていますが、特殊な効果をねらう場合などは、手動で露出を調整することもできます。

1. 記録一時停止状態のときに、「露出」ボタンを押します。

hint ヒント hint

- **「露出」ボタンを押すたびに、手動調整と自動調整が切り換わります。自動調整時は、画面には何も表示されません。**

画面に露出インジケータが表示されます。

2. 画面で映像を確認しながら選択ダイヤルを回して露出を調整します。

3. 露出を調整したら選択ダイヤルを押します。

調整した露出が保存されます。

保存した状態から自動に戻すには、「露出」ボタンを 2 回押してください。

4. 撮影を開始します。

hint ヒント hint

- 露出の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 露出が保存されていないときに露出の設定を自動に戻すには、もう一度「露出」ボタンを押してください。

ホワイトバランス（オート／ホールド）

本機では、ホワイトバランスのモードを「オート」または「ホールド」に切り換えることができます。

モード	ビデオカメラの状態
オート	ホワイトバランスが常に自動調整されます。
ホールド	「HOLD」を決定した時点のホワイトバランスが保持されます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「カメラ機能設定」→「ホワイトバランス」の順に選択します。

選択肢が表示され、「AUTO」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「HOLD」に変更し、選択ダイヤルを押します。

カメラ機能のメニューに戻り、「ホワイトバランス」が「HOLD」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

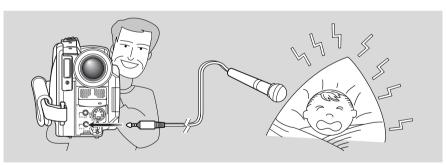
●ホワイトバランスのモードを確認する

ホワイトバランスのモードは、画面の情報で確認できます。ただし「AUTO」のときは、何も表示されません。

ホワイトバランスのモード

ホワイトバランスの設定は､電源を切って再度電源を入れても表示は｢HOLD｣になっていますが､設定時の値がずれて色合いがおかしくなっている場合があります。いったん｢AUTO｣モードに戻した後、再度｢HOLD｣設定をしてください。

音をマイクで録る

市販の高性能マイクを接続して撮影すると、よりクリアな音声を記録できます。
市販のマイクを､本機のマイク接続端子に接続します。マイクのスイッチを入れてから撮影を開始してください。
マイクの仕様については「仕様」（☞ P.165）を参照してください。

▶▶ お願い ◀◀

画面に「MIC」と表示されても、マイク端子に対しては、マイクフィルター　は働きません。

マイクからの風の音を低減させる

本機の内蔵マイクで録音するときに、フィルターをかけてマイクからの風の音を低減させることができます。撮影時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 「記録モード設定」→「マイクフィルター」の順に選択します。

選択肢が表示され、「OFF」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「ON」に変更し、選択ダイヤルを押します。

記録モードのメニューに戻り、「マイクフィルター」が「ON」に変わっています

4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

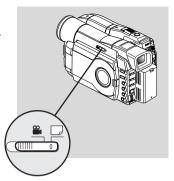
●マイクフィルターの設定を確認する

マイクフィルターが「ON」になったことは、画面情報で確認できます。「ON」のときは「MIC」と表示され、「OFF」のときは何も表示されません。

マイクフィルターの設定は、一度変更すると、再度変更するまで電源を切っても記憶されています。

マイクフィルターの表示

静止画を撮る

1. ビデオカメラの電源を入れ、記録モードスイッチを静止画モード（ ）に合わせます。

2. 静止画モード（ ）になったことを、画面で確認します。

hint ヒント hint

静止画に切り換えると、ビューファインダーや液晶画面で見る画像は動画より粗くなりますが、記録される画像には影響しません。

3. 被写体を画面（ビューファインダーまたは液晶画面）で確認し、必要に応じて「ズーム」レバーを動かして被写体の大きさを調整します。

ズームの動作は、動画撮影時と同じです。P.65「ズームの操作」をお読みください。デジタルズームをオフにすることもできます（☞ P.66）。

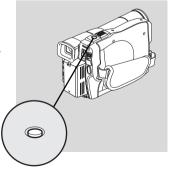
4.「フォトショット」ボタン（シャッター）を半分まで押します（半押し）。

操作音が 2 回鳴ります。

ピントは、画面中央にある被写体に自動で合うようになっています（オートフォーカス選択時）。

5.「フォトショット」ボタンをすべて押し込みます（全押し）。

画面がいったん暗くなり（ DVD が点滅）、その後撮影された画面が表示されます。

6.「ディスクに保存中です」という表示が消えたら、記録終了です。

1 枚撮影したあと、データが記録される間、次の撮影ができるようになるまでに約 10 秒が必要です。

7. 撮影が終了したら、電源を切ります。

記録一時停止のまま約 5 分経過すると自動的に電源が切れます（☞ P.65「パワーセーブとバッテリーの消耗」）。パワーセーブを解除したり、自動に電源が切れるまでの時間を変更することもできます（☞ P.129）。

静止画のいろいろな撮影方法

●被写体を中央に配置しないで撮る

1. 被写体を中央に配置した状態でシャッターボタンを半分まで押します（半押し）。

2. そのままの状態で撮影したい構図になるまでビデオカメラを動かします。

3.「フォトショット」ボタンを押し込みます（全押し）。

ピントを手動で合わせることもできます（☞ P.88）。

画質について

本機で撮影できるJPEG静止画の画質は、1280×960ピクセルのみです。画質を切り換えることはできません。

撮影モード（プログラムAE）について

静止画でも、5種類の撮影モードから選択して撮影できます。シャッタースピードと絞りが自動的に調整されます。撮影モードの選びかたについては、P.69「状況に合った撮影モードを選ぶ」をお読みください。

hint ヒント hint

- **逆光のときは、フラッシュを使用して撮影すると、よりきれいに撮れます。**

シャッタースピードについて

シャッタースピードは、被写体の明るさに応じて 1/800～1/30 秒の間で自動的に設定されます。薄暗いときは、自動的にシャッタースピードが遅くなるので、手振れにお気をつけください。
また、静止画の撮影時には、「手振れ補正」は機能しません。

フラッシュについて

薄暗いところや逆光時撮影するときは、自動的にフラッシュが発光したり、明るさにかかわらず、無条件にフラッシュが発光するようにしたり、暗いところでもフラッシュを使わずに撮影することもできます。暗いところで撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、手振れにお気をつけください。
フラッシュの充電時間は、記録モードスイッチを動画から静止画へ切り換えてから、約6秒です。

設定	OSD表示	発光方法
AUTO	「フォトショット」ボタンを押すと ⚡	薄暗いところや逆光時に自動的に発光
ON	⚡	明るさにかかわらず、常時発光
OFF	(⚡)	常時非発光

hint ヒント hint

- **フラッシュを使用しても薄暗いところでは、ピントが合わないことがあります。薄暗いところでの撮影には、ライトで被写体に光を当てることをお勧めします。**

フラッシュを設定する

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

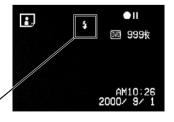
2. 選択ダイヤルで「カメラ機能設定」→「フラッシュ」の順に選択します。

選択肢が表示され、「AUTO」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「ON」（常時発光）または「OFF」（常時非発光）に変更し、選択ダイヤルを押します。

カメラ機能のメニューに戻り、「フラッシュ」が「ON」または「OFF」に変わっています。

4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

フラッシュの状況は、画面情報で確認できます。「AUTO」のときは、何も表示されません。

フラッシュ

hint ヒント hint

- **フラッシュが「AUTO」で自動発光する明るさのときには、シャッターボタンを半押し、または押したときに、フラッシュマーク（ ）が画面に表示されます。**

▶▶ **お願い** ◀◀

- **フラッシュは、発光時に自動的に光量の調整を行ないますが、被写体までの距離が遠すぎるときや近すぎるときには、光量調整が十分にできないことがあります。適正な光量調整ができる距離は被写体によって異なりますが、約0.5m～2.5m程度です。**
- **静止画を接写するときは、フラッシュは「OFF」に設定してください。被写体が近すぎると白とびするおそれがあります。**

フラッシュの設定は、電源を切っても変わりません。いつも決まった設定で撮影するのでなければ、「ON」や「OFF」に変更して撮影したあとは、「AUTO」に戻してから電源を切ることをお勧めします。

静止画特有の撮影方法

静止画の撮影時には、次のような特殊な撮影ができます。

・インターバル撮影　：一定の間隔を置きながら、連続撮影ができます。撮影間隔は、約30秒～約5分までの間で、10秒ごとの時間間隔で設定ができます。

・セルフタイマー撮影　：一般のカメラと同様のセルフタイマー撮影ができます。「フォトショット」ボタン（シャッター）を押したあと、約10秒後に撮影されます。

また、動画撮影時と同様に、以下のような設定や撮影もできます。

- 手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）
- 至近距離から撮る（接写）
- 自分を撮る
- 明るさを手動で調節して撮る
- ホワイトバランスをホールドにして撮る

インターバル撮影

インターバル撮影とは、あらかじめ時間間隔を設定しておき（約30秒～約5分まで10秒単位）、1回「フォトショット」ボタンを押すだけで、その時間間隔で次々と静止画を撮影する方法です。例えば、花が咲く様子や夕陽が沈む様子をインターバル撮影し、その中からよく撮れたものだけを選ぶといった使いかたができます。

▶▶ お願い ◀◀

- **インターバル撮影は、静止画しかできません。**

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「記録モード設定」→「セルフ／インターバル」の順に選択します。

選択肢が表示され、「OFF」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「インターバル」選び、選択ダイヤルを押します。

インターバル撮影の撮影間隔を設定できるようになります。

4. 選択ダイヤルを回して撮影間隔を選択し、選択ダイヤルを押します。

記録モードのメニューに戻り、「セルフ／インターバル」が「インタ　X:XX（設定した撮影間隔）」に変わっています。

5.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

インターバル撮影が設定されていることは、画面情報でも確認できます。

インターバル

6.「フォトショット」ボタン（シャッター）を押すと、インターバル撮影が始まります。

設定した時間間隔で次々と自動で撮影が行われます。

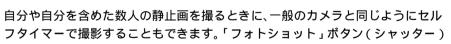
7. もう一度「フォトショット」ボタン（シャッター）を押すと、インターバル撮影が終了します。

最後に「フォトショット」ボタンを押したときの画像は、撮影されません。
停止ボタンを押しても、インターバル撮影が終了します。

インターバル撮影モードは、そのまま電源が入っている間有効です。インターバル撮影モードを解除したい場合は、メニューで設定を「OFF」にするか、いったん電源を切ってください。

▶▶ **お願い** ◀◀

- **フラッシュを使用しても薄暗いところでは、ピントが合わないことがあります。薄暗いところでの撮影には、ライトで被写体に光を当てることをお勧めします。または、マニュアルフォーカスであらかじめピントを合わせておいてください。**
- **インターバル撮影の撮影間隔時間は目安であり、正確な時間間隔ではありません。**

セルフタイマー撮影

自分や自分を含めた数人の静止画を撮るときに、一般のカメラと同じようにセルフタイマーで撮影することもできます。「フォトショット」ボタン（シャッター）を押したあと、約 10 秒後に撮影されます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「記録モード設定」→「セルフ／インターバル」の順に選択します。

選択肢が表示され、「OFF」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「セルフタイマー」に変更し、選択ダイヤルを押します。

記録モードのメニューに戻り、「セルフ／インターバル」が「セルフ　0:10」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

セルフタイマーが設定されていることは、画面情報でも確認できます。

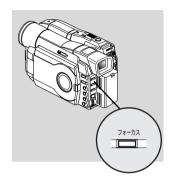
5.「フォトショット」ボタン（シャッター）を押します。

カメラ前面のタリーランプが点滅します。
約 10 秒後にシャッターがおります。

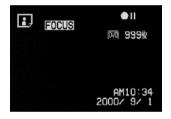
セルフタイマーは、そのまま電源が入っている間有効です。セルフタイマーを解除したい場合は、メニューで設定を「OFF」にするか、いったん電源を切ってください。
セルフタイマーを中断する場合は、シャッターがおりる前に、もう一度「フォトショット」ボタンを押すか、停止ボタンを押してください。

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス） ●●●●●

ピントは、画像中央にある被写体に自動にあうようになっていますが、特殊な効果をねらって手動でピントをあわせることもできます。静止画のマニュアルフォーカスの手順は、動画の場合と少し異なります。

1. 記録一時停止状態のときに、「フォーカス」ボタンを押します。

画面に「FOCUS」と表示されます。

hint ヒント hint

- **「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。**

2. 画面で映像を確認しながら選択ダイヤルを回してピントを調整します。

3. ピントが合ったら、撮影してください。

マニュアルフォーカスの場合は、「フォトショット」ボタン（シャッター）を半押しにする必要はありません。

マニュアルフォーカスは電源を切ると解除されます。

撮った映像を見る・削除する・編集する

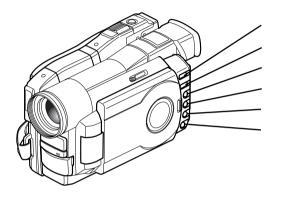
本機で撮影した映像は、すぐにその場で再生して確認できます。

また、内蔵のディスクナビゲーションというツールを使うと、撮影した映像や画像にタイトル／メモ／映像効果などをつける、シーンの順序を入れ換える、複数の映像を編集して連続再生するなど、本機だけでちょっとしたムービー作品を作成することもできます。

4

再生する

再生時に使用するボタン

従来のビデオカメラの再生・早戻し・早送り・一時停止などと同様の操作を行なえます。

①再生／一時停止ボタン

記録を行ったあとの記録一時停止状態のときに押すと、最後に撮ったシーンが最初の場面から再生されます。再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生が再開します。

②停止ボタン

記録一時停止状態またはディスクナビゲーションの画面に戻ります。

③正方向サーチボタン

再生中に押すと早送りになります。

一時停止中に押すと、コマ送りとなります。１秒以上押すと正方向スロー再生されます。

④逆方向サーチボタン

再生中に押すと早戻しになります。

一時停止中に押すと、コマ戻しとなります。１秒以上押すと逆方向スロー再生で再生されます。

⑤正方向スキップボタン

次のシーンの頭出しをします。「範囲選択」ボタンを押したあとに押すと、最後のシーンの最後の場面が表示されます。

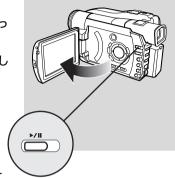
⑥逆方向スキップボタン

ひとつ前のシーンの頭出しをします。「範囲選択」ボタンを押したあとに押すと、最初のシーンの頭出しをします。

撮ったあとにその場で確認する

撮った映像をその場で確認できます。

1. 記録一時停止状態で、▶/II を押します。

ビデオカメラが再生モードになり、最後に撮った映像の最初の場面から再生されます。
映像の最後の場面にくると、その場面を表示したままになります。

2. ■ を押します。

再生が停止し、記録一時停止状態に戻ります。
再生を一時停止するには、▶/II を押します。

▶▶ お願い ◀◀

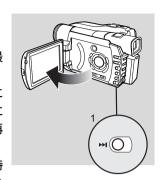
- **映像を撮ったあと、◀◀ を押すと、最後に撮った映像の最後の約5秒間を確認できます。再生が終わると、自動的に記録一時停止状態に戻ります。**
- **ディスクナビゲーションで設定したフェード・ワイプ・モノトーン・スキップ設定は、働きません。ディスクナビゲーションから再生したときだけ、働きます。**
- **動画のシーンをつなぎ撮りした場合は、約0.1秒程度音声が途切れることがあります。また、動画の一部を削除して映像をつないだ場合にも、約0.5秒程度音声が途切れることがあります。**
- **他のレコーダーで記録したディスクを本機で再生する場合は、ディスクナビゲーションを使ってから再生してください（☞ P.95）。**

hint ヒント hint

- **再生中の音量は、選択ダイヤルを回して調整してください。リモコンの「音量」ボタンでも調整できます。**
- **再生を一時停止するときは、▶/II を押します。もう一度 ▶/II を押すと、再開します。**
- **再生を止めるときは、■ を押します。もう一度 ▶/II を押すと、再生を止めた位置から再生されます。電源を切っても、■ を押した位置は保存されます。**
- **再生を途中で止めても、次の映像を撮る前に最後の映像の最後の所を頭出しする必要はありません。いつ撮影を開始してもすでに記録されている映像のあとに記録されるので、重ね撮りしてしまう心配はありません。**

見たい映像を探す

1. 再生中に ⏭ を１回押します。

次のシーンに飛んで再生が開始されます。
再生中に ⏮ を１回押すと、再生中のシーンの最初の場面に戻ります。
シーンの先頭から約2秒以内のところを再生中に ⏮ を１回押すと、ひとつ前のシーン(「シーン」についてはP.95を参照してください)に戻って再生が開始されます。
シーンの先頭から約１秒以内のところで再生一時停止中に ⏮ を１回押すと、ひとつ前のシーンの最初の場面で、再生一時停止します。

hint ヒント hint

- **再生中に ⏭ を１秒以上押しつづけると、次のシーンから連続頭出しが始まります。見たい映像がみつかりボタンから手を離すと、再生を開始します。**
- **再生中に ⏮ を１秒以上押しつづけると、ひとつ前のシーンからさかのぼって連続頭出しが始まります。見たい映像がみつかりボタンから手を離すと、再生を開始します。**
- **再生一時停止中に ⏭ を１秒以上押しつづけると、次のシーンから連続頭出しが始まります。見たい映像がみつかりボタンから手を離すと、再生一時停止状態になります。**
- **再生一時停止中に ⏮ を１秒以上押しつづけると、ひとつ前のシーンからさかのぼって連続頭出しが始まります。見たい映像がみつかりボタンから手を離すと、再生一時停止状態になります。**
- **「範囲選択」ボタンを押したあとで、⏭ を押すと、ディスクに記録されている一番最後のシーンの最後の場面まで、一度で進みます。**
- **「範囲選択」ボタンを押したあとで、⏮ を押すと、ディスクに記録されている一番最初のシーンまで、一度で戻ります。**

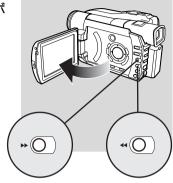
●サーチ、スロー再生のスピード

操作モード	速度	
	動画	静止画
正方向サーチ	約６倍	約３倍
逆方向サーチ	約６倍	約３倍
正方向スロー	約1/2倍	約1/2倍
逆方向スロー	約3/4倍	約1/2倍

- 本機で記録した映像に限ります。
- この表の速度はめやすです。操作中に遅くなることがあります。
- 正方向スローでは、動きの激しい被写体で画像がブレることがあります。
- 逆方向スローでは、コマが粗くなります。
- 特殊再生中に音声は出ません。

見たい場面を探す

1. シーンを再生中に ⏩ ボタンまたは ⏪ ボタンを押しつづけます。

映像が早送り・早戻しされます。

2. ボタンから手を離すと、そこから通常の速度で再生されます。

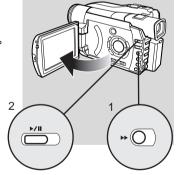
▶▶ お願い ◀◀

- **スキップボタン、サーチボタンを押したり、離したりすると約１秒間画面が暗くなります。**

コマ送り／コマ戻しする／スロー再生

1. 再生一時停止中に ⏩ を 1 回押します。

映像がひとコマ先へ進みます。

⏪ を 1 回押すと、映像がひとコマ戻ります。

2. 見たい場面が表示されたら、▶/II を押して再生を開始してください。

hint ヒント hint

- **⏩ を押しつづけると正方向スロー再生に、⏪ を押しつづけると逆方向スロー再生になります。**
- **見たい場面でボタンから手を離し、▶/II を押すと、そこから通常の速度で再生されます。**

再生時の情報

ビューファインダーや液晶画面で見る再生映像に重なって、撮影に関するいろいろな情報が表示されます。

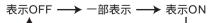
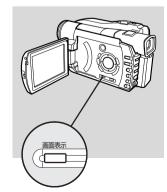
＊再生時の音量は選択ダイヤルを回して調整してください。リモコンの「音量」ボタンでも調整できます。

●情報を消す／表示する

再生時の画面情報の表示モードを切り換えることができます。

- 表示OFF：シーン分割、範囲選択表示、最初のシーンの最初の場面、最後のシーンの最後の場面のみ表示されます。
- 一部表示：シーン分割、範囲選択、再生状態が表示されます。再生表示▶は、約 3 秒間だけ表示されます。
- 表示 ON：すべての情報が表示されます。

1.「画面表示」ボタンを押します。

押すたびに、以下のように切り換わります。画面情報表示の内容は、電源を切っても記憶されています。

ディスクナビゲーションの使いかた

ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するためのツールです。

本機で記録されるデータの構造

DVD-RAM ディスクには、本機で撮影した動画と静止画が、いずれも「シーン」という単位で、撮影した順番に記録されます。

- 動画：　「録画」ボタンを押して撮影を開始してから、もう一度「録画」ボタンを押して撮影を一時停止するまでの映像（約３秒以上）が１シーンになります。
- 静止画：「フォトショット」ボタンを押して撮影した１枚の画像（インターバル撮影の場合は１回シャッターがおりて撮影された画像）が１シーンになります。

また、記録されているシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっています。プログラムを選択することで、特定の日のシーンだけを表示できます。

全プログラム

プログラム No.1 2000/9/1					プログラム No.2 2000/9/3					プログラム No.3 2000/10/5					......
動画	動画	静止画	動画	......	動画	静止画	静止画	動画	......	静止画	動画	静止画	動画	......	

日付ごとに「プログラム」としてまとまっています。

ディスクナビゲーションでできること

ディスクナビゲーションを使って、以下のようなことが行なえます。

●サムネイル表示

記録されている全シーンをサムネイル表示できます(全プログラム ☞ P.98)。
撮影した日付ごとの単位でもサムネイル表示できます(プログラム選択 ☞ P.100)。

●再生

全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、以下のような再生ができます。

シーンをひとつ選び、そこから再生を開始できます。静止画の再生は、3秒間の表示となります(☞ P.102)。
隣り合う複数のシーンを選び、選んだシーンだけを再生できます
(範囲選択 ☞ P.102)。
何度も繰り返して再生できます(リピートプレイ ☞ P.104)。
静止画だけを 3 秒間隔で切り替えて表示できます(スライドプレイ ☞ P.105)。

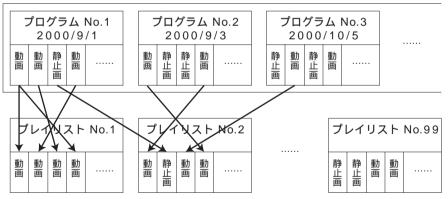
●シーンの編集

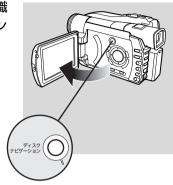
全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、以下のような編集ができます。

不要なシーンを削除できます(☞ P.106)。
人に見せたくないシーンは、削除しなくても、飛ばして再生するように設定できます(スキップ設定 ☞ P.107)。
シーンにメモをつけられます(☞ P.109)。
シーンに特殊効果(フェード・ワイプ・モノトーン)をつけられます(☞ P.112)。
動画を 2 つに分割できます(☞ P.114)。
複数の動画を結合できます(☞ P.115)。
シーンに関する情報(撮影した日時や動画の長さ(記録時間)、設定されているメモや動画の特殊効果、スキップ設定など)を表示して確認できます(☞ P.116)。

●プレイリストの作成と編集

全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、シーンを選び、99個までのオリジナルストーリーを作成できます（プレイリスト ☞ P.117）。
プレイリストにシーンを追加・解除して、いつでも構成を変更できます。プレイリストは、追加した順番にシーンが再生されるので、シーンをランダムに選んで追加することで、オリジナルとは異なる順番で構成したり、同じシーンを何度も繰り返し挿入することもできます。

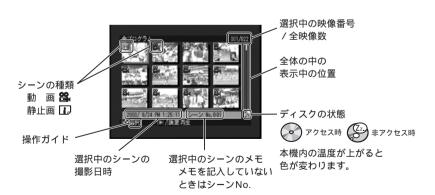
プレイリストには、タイトルをつけられます（☞ P.122）。
プレイリストをサムネイル表示して、プレイリスト内の個々のシーンに、元のシーンとは別のメモや特殊効果をつけられます。また、元のシーンとは別の分割や結合もでき、分割したシーンの一部をプレイリストから解除することもできます。
作成したプレイリストは、再生・リピートプレイ・スライドプレイができます。
プレイリスト内のシーンにスキップを設定し、再生時に飛ばすこともできます。
プレイリスト内で個々のシーンを操作しても、元のシーンはまったく影響を受けないので、自由に編集を楽しめます。

ディスクナビゲーションを起動する

1. ビデオカメラの電源を入れ、ディスク認識終了後「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

●ディスクナビゲーションを終了する

ディスクナビゲーションを終了するときは、もう一度「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

[■] を押してもディスクナビゲーションを終了できます。

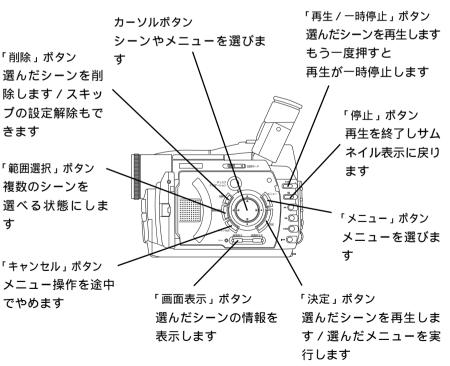
ディスクナビゲーションの最初の画面

撮ったシーンの一覧が、撮った順番に表示されます（動画の場合は最初の画面、静止画の場合は画像が 12 枚ごとに表示されます。）。
この表示を、サムネイル(Thumbnail)といいます。

ディスクナビゲーションを起動すると、全プログラムのサムネイルが一覧表示されます。

ディスクナビゲーションの操作に使用するボタン ●●●●●

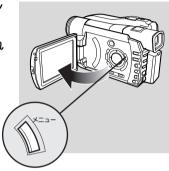
ディスクナビゲーションは、ビデオカメラ本体のボタン・選択ダイヤル・リモコンのいずれかを使って操作します。ここでは、ビデオカメラ本体のボタンを使った操作を説明します。

hint ヒント hint

- **本格的に編集するときは、テレビに接続し（☞ P.138）、リモコンを使用すると便利です。**
- **ディスクナビゲーションの説明の中に出てくる ボタンは、カーソルボタンを使用してください。リモコンからも操作できます。**
- **ディスクナビゲーションの操作は選択ダイヤルで行なうこともできます。選択ダイヤルで操作する場合は、表示を確認してからゆっくりと操作してください。**
- **再生時に使用するボタンは、ディスクナビゲーションで再生するときにも使用できます（☞ P.90）。**
- **ボタンで 12 シーンごとの改ページ、ボタンで最終のシーン、先頭のシーンに移動することができます。**

日付ごとの表示に切り換える（プログラム選択）

シーンがたくさんあるときは、目的の日付のシーンだけを表示したほうが、編集しやすい場合があります。本機で記録されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

1. サムネイル表示画面で、「メニュー」ボタンを押します。

ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。

2. ● を1回押して「プログラム」を選び、● を押します。

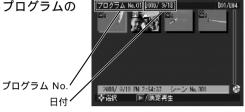
プログラムに関するメニューが表示されます。

3.「選択」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

「プログラム選択」のメニューが表示されます。

4. タイトル一覧から表示したいプログラムを選び、「決定」ボタンを押します。

選んだ日付のシーンだけのサムネイル表示に切り換わります。

(▶/II) を押すと、選択されているプログラムの全シーンが再生されます。

▶▶ お願い ◀◀

- **プログラムのタイトルは、撮影された日付に従って設定されています。**
- **日付設定（☞P.51）を変更しても、すでに設定されているタイトルと表示されている順序は変わりません。**
- **特定のプログラムを選択して表示したときも、全プログラムのサムネイル表示時と同様に、シーンの選択・再生・編集などを行なえます。**

hint ヒント hint

- **手順 4 のプログラムタイトル一覧画面では、以下の操作ができます。**
  (▶▶)、(◀◀) ボタン:　5 プログラムずつの移動
  (▶▶I)、(I◀◀) ボタン:　最終、先頭プログラムへの移動
  (▶)、(◀) ボタン:　10 プログラムずつの移動

●シーン No. について

シーンNo.は、そのシーンに固有の番号ではありません。表示中のサムネイルの中での通し番号です。したがって、同じシーン・画像でも、全プログラム表示時と特定のプログラム表示時とで、シーン No. が異なる場合があります。

シーンを選ぶ

1. サムネイル表示画面で、 を押して選びます。

選択されているシーンには、ブルーの影がついています。これを、「カーソル」といいます。

また、選択中のシーンの番号が右上に表示されます。

カーソル

選択中のシーンの番号
（選択中のシーンの番号／全シーン数）

右下隅のシーンにカーソルがあるときに を押すか、最下行のどれかのシーンにカーソルがあるときに を押すと、次の 12 枚（次のページ）が表示されます。ただし、最終ページでは、次のページが表示されません。

左上隅のシーンにカーソルがあるときに を押すか、最上行のどれかのシーンにカーソルがあるときに を押すと、前の 12 枚（前のページ）が表示されます。ただし、先頭ページでは前のページが表示されません。

hint ヒント hint

- **カーソルボタンを押し続けると、12 枚ずつの単位でページが移動します。**
- **、 を押してもページの移動ができます。**
- ** を押すと最終ページへ移動、 を押すと先頭ページへ移動できます。**

複数のシーンをまとめて選ぶ

連続する複数のシーンをまとめて選択できます。
任意にシーンを選択することはできません。

▶▶ お願い ◀◀

- **あとで説明する「スキップ」（ P.107）を設定しておけば、そのシーンを飛ばして再生することができます。また、「プレイリスト」（ P.97）を使えば、任意に選択した複数のシーンの順番も変えて再生することができます。**

1. 最初のシーンを選びます。

2.「範囲選択」ボタンを押します。

画面右下に「範囲選択」と表示されます。

3. 選択しようとしている範囲の最後のシーンまで、カーソルボタンを押して移動します。

選択されているシーンには、濃いブルーの影がついています。

範囲選択

hint ヒント hint

- **選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。**

範囲選択を解除するときは、もう一度「範囲選択」ボタンを押します。

メニューを使って選ぶ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

ディスクナビゲーションのメニューを使って、最初からカーソル位置まで、カーソル位置から最後まで、あるいは全部のシーンを一度に選択できます。シーン数が多いときなど、カーソルキーを押して選ぶのがわずらわしい場合に便利です。

1. 範囲の最初または最後にしたいシーン（全部選ぶ場合は任意のシーン）を選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2.「再生」が反転表示されているので、● を押して、再生に関するメニューを表示します。

3. ● を押して「範囲指定」を選び、「決定」ボタンを押します。

範囲指定のメニューが表示されます。

4. 全部を指定するときは「全選択」、カーソル位置以前を指定するときは「ここまで」、カーソル位置以降を指定するときは「ここから」を選び、「決定」ボタンを押します。

サムネイル表示に戻り、指定した範囲が選択されています。

ディスクナビゲーションで再生する

1. シーンを選択し、「決定」ボタンまたは ▶/II を押します。

シーンをひとつ選択していたときは、そのシーンから再生が始まり、最後のシーンまで再生されます。

範囲選択していたときは、選択したシーンだけが続けて再生されます。

途中に含まれる静止画は、3 秒間表示されます。

再生が終わると、最後の場面が表示されたままになります。

hint ヒント hint

- **再生を一時停止させるときは、▶/II を押します。**
- **もう一度 ▶/II を押すと、そこから再生が始まります。**
- **再生が終わったあと、▶/II を押すと最初のシーンの最初の場面から再生できます。**
- **□ を押せば、いつでもサムネイル表示に戻れます。**
- **再生時に使用するすべてのボタンを使用できます。**
- **ひとつのシーンだけを再生するには、再生したいシーンだけを範囲選択で選んでから再生してください。**

繰り返し再生する（リピートプレイ）

1. サムネイル表示状態で「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. 「再生」が反転表示されているので、▶ を押して、再生に関するメニューを表示します。

4 ディスクナビゲーションの使いかた

3.「リピートプレイ」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

選択したシーンから再生が始まります。
ひとつ選択していたときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンからすべてのシーンの再生が繰り返されます。
範囲を選択していたときは、その範囲の再生が繰り返されます。

hint ヒント hint

- **再生中には、再生時に使用するすべてのボタンを使用できます。**
- **再生を終了するには ⊡ を押します。**
- **再生中の早送り／早戻し、正方向スロー再生／逆方向スロー再生などでシーンの最後または最初の場面になると、いちど再生一時停止します。**

静止画だけを再生する（スライドプレイ）

再生したい画面を選択しておいてください。

- 選択した画面以降がスライド再生されます。

1. サムネイル表示状態で、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2.「再生」が反転表示されているので、▶ を押して、再生に関するメニューを表示します。

3. ▼ を押して「スライドプレイ」を選び、「決定」ボタンを押します。

静止画だけが一定の時間間隔で切り換わって、順番に最後まで表示されます（約3秒間ずつ表示されます）。
範囲を選択していたときは、その中に含まれる静止画が対象となります。
再生中には、再生時に使用するすべてのボタンを使用できます。
サムネイル表示画面に戻るには、⊡ を押します。

4 ディスクナビゲーションの使いかた

メニューを使って削除する

1. 削除するシーンを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. ● を押して「シーン情報」を選び、● を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3. ● を押して「スキップ設定/シーン削除」を選び、「決定」ボタンを押します。

スキップと削除のメニューが表示されます。

4. ● を押して「シーン削除」を選び、「決定」ボタンを押します。

確認の画面が表示されます。

5. 本当に削除する場合は、「はい」を選んで「決定」ボタンを押します。

削除中のメッセージが表示されたあと、選択していたシーンが削除され、サムネイル表示に戻ります。

確認の画面が表示されたときに、「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「キャンセル」ボタンを押すと、削除を取り止めることができます。

hint ヒント hint

- **「削除」ボタンを押すと、手順 4 からの操作となります。**
- **ディスクの中のすべてのデータを消去しても良い場合は、ディスクの初期化をおすすめします（☞P.134）。**

お願い

- **静止画撮影では、カメラで再生するための静止画とパソコンで利用するための静止画の 2 種類を同時に記録します。しかし、この削除機能では、カメラで再生するための静止画のみしか削除できません。パソコンで利用するための静止画については、必要に応じて、DVD ビデオカメラ用パソコン静止画キット（☞P.146）を利用して削除することもできます。**
- **削除部分の時間、枚数が少ない場合は、残量表示で残容量が増加しない場合があります。**

シーンを飛ばして再生する（スキップ設定）

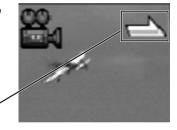
再生したくないシーンにスキップを設定しておくと飛ばして再生します。

1. シーンを選択し、「削除」ボタンを押します。

「削除」ボタンを押すと、スキップと削除のメニューが表示されます。
範囲選択しておき、まとめてスキップを設定することもできます。

2.「スキップ設定」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

設定中のメッセージが表示されたあと、選択していたシーンにスキップが設定され、サムネイル表示に戻ります。

スキップが設定されているシーンには、スキップマーク「 」がついています。

スキップマーク

スキップを解除する

1. スキップを解除するシーンを選択し、「削除」ボタンを押します。

「削除」ボタンを押すと、スキップと削除のメニューが表示されます。
範囲選択しておき、まとめてスキップを解除することもできます。

2. を押して「スキップ解除」を選び、「決定」ボタンを押します。

解除中のメッセージが表示されたあと、選択していたシーンのスキップが解除され、サムネイル表示に戻ります（スキップマークが消えます）。

hint ヒント hint

- **スキップ設定、解除は、メニューからでも操作できます。**

メニューを使ってスキップを設定／解除する

1. シーンを選択し､「メニュー」ボタンを押して､ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. ● を押して「シーン情報」を選び､● を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3. ● を押して「スキップ設定／シーン削除」を選び、「決定」ボタンを押します。
スキップと削除のメニューが表示されます。

4.「スキップ設定」または「スキップ解除」を選び、「決定」ボタンを押します。
処理中のメッセージが表示されたあと､選択していたシーンにスキップが設定または解除されて、サムネイル表示に戻ります。

hint ヒント hint

- **「削除」ボタンを押すと、手順 3 からの操作となります。**

▶▶ お願い ◀◀

- **記録一時停止状態から ▷/II を押した場合は、スキップ設定が働きません。**

4 ディスクナビゲーションの使いかた

メモを付ける

シーンに 20 文字までのメモを付けることができます。

1. メモを付けるシーンを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

範囲を選択しておき、まとめて同じメモを付けることもできます。

2. を押して「シーン情報」を選択し、 を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3.「メモ設定」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

メモ設定／編集画面が表示されます。
メモ設定／編集画面は4種類あり、「画面表示」ボタンを押して切り換えることができます。よく使用する12の定型句も用意されており、選ぶだけで簡単に入力できます。

「カナ」モード： カタカナを入力します。

「英数」モード： アルファベットと数字を入力します。

「記号」モード：記号と数字を入力します。

「定型」モード：定型句を入力します。

定型句

ウンドﾞウカイ	クリスマス	ソツギﾞョウシキ	ハイキングﾞ
エンソク	コドﾞモノヒ	タンジﾞョウビﾞ	ヒナマツリ
オショウガﾞツ	ゴﾞルフ	テニス	ヤキュウ
オハナミ	サッカー	ナツヤスミ	リョコウ
キネンビﾞ	スキー	ニュウエンシキ	
キャンプﾟ	ソツエンシキ	ニュウガﾞクシキ	

「画面表示」ボタンを押して、入力したい文字または定型句のモードに切り換え、カーソルキーで文字または定型句を選んで、「決定」ボタンを押すと、メモの入力ボックスに表示されます。

例えば、「タロウ ノ ウンドウカイ 2000」というメモは、次のようにして入力します。

4. 「画面表示」ボタンを押して「カナ」モードを表示し、カーソルキーで「タ」を選んで、「決定」ボタンを押します。

メモの入力ボックスの左端に「タ」と表示されます。

4 ディスクナビゲーションの使いかた

5.「カナ」モードのまま、「ロ」・「ウ」を入力し、それぞれ決定します。

次に「空白」を選び、「決定」ボタンを押します。

6. 続けて「ノ」・「空白」を入力し、それぞれ決定します。

7.「画面表示」ボタンを押して、「定型」モードに切り換えます。

カーソルキーで「定型」を選び、「決定」ボタンを押しても、「定型」モードに切り換わります。

8.「01：ウンドウカイ」を選び、「決定」ボタンを押します。

9.「英数」モードに切り換え、「空白」・「2」・「0」・「0」・「0」と入力し、それぞれ決定します。

10. メモを入力し終わったら、「登録」を選んで「決定」ボタンを押します。

11. 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選び「決定」ボタンを押します。

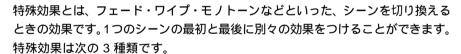
登録中のメッセージが表示されたあと、サムネイル表示に戻ります。

入力したメモが画面右下に表示されています。

hint ヒント hint

- **間違って入力した文字を消すには、「削除」を選んで「決定」ボタンを押します。最後の 1 文字が削除されます。**
- **全部の文字を消して最初から入力しなおすときは、「クリア」を選んで「決定」ボタンを押します。**
- **登録したメモは、同じ手順でいつでも変更できます。**

特殊効果を付ける

特殊効果とは、フェード・ワイプ・モノトーンなどといった、シーンを切り換えるときの効果です。1つのシーンの最初と最後に別々の効果をつけることができます。特殊効果は次の 3 種類です。

フェード	白い画面からフェードイン、白い画面へフェードアウト
ワイプ	黒い画面から画面上下方向へワイプイン、画面上下方向から黒い画面へワイプアウト
モノトーン	白黒の画面からカラー画面へモノトーンイン、カラー画面から白黒画面へモノトーンアウト

1. 特殊効果をつけるシーンを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. ● を押して「シーン情報」を選択し、● を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3. ● を押して「フェード／ワイプ設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。

特殊効果の設定画面が表示されます。

4. ● または ● で「イン」か「アウト」を選択します。

「イン」か「アウト」を選んだら、● を押して効果を選び「決定」ボタンを押します。

5.「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選んだら、「登録」を選んで「決定」ボタンを押します。

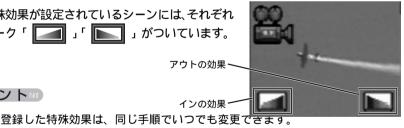
設定中のメッセージが表示されたあと、サムネイル表示に戻ります。

特殊効果が設定されているシーンには、それぞれマーク「 」「 」がついています。

hint ヒント hint

- **登録した特殊効果は、同じ手順でいつでも変更できます。**
- **再生時に表示される画面情報にも、特殊効果が働きます。**

▶▶ お願い ◀◀

- **静止画の特殊効果はフェードイン・ワイプイン・モノトーンインしか働きません。**
- **記録一時停止した状態から ▶/II を押した場合は、特殊効果が働きません。**
- **スキップして頭出しした場合、シーンの先頭画像が一瞬出てから、フェードが働きます。**

動画を分割する

シーンを 2 つに分割することができます。シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要な方を削除します。シーンの一部を切り取ってプレイリストで利用することもできます。

1. 分割するシーンを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. を押して「シーン情報」を選択し、を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3. を押して「分割」を選択し、「決定」ボタンを押します。

選択したシーンの再生が始まります。

4. 分割したい部分に来たら、「決定」ボタンを押します。

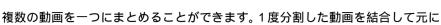
指定した位置でシーンが分割され、サムネイル表示に戻ります。分割後の 2 つのシーンは、隣り合って並んでいます。

hint ヒント hint

- **分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です。**
- **元のシーンにメモをつけていた場合は、分割後の2つのシーンに同じメモがついています。**
- **元のシーンに特殊効果をつけていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれています。**

▶▶ **お願い** ◀◀

- **分割位置が、指定した位置から前後に約 0.5 秒ずれる場合があります。**
- **スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。**
  スキップを解除してから分割してください。
- **分割位置が静止画の場合、「分割中です」と表示が出ますが、分割は行なわれません。**
- **分割位置がシーンの先頭・最後・切り換わり位置の場合、「分割中です」と表示が出ますが、分割は行なわれません。**
- **0.5 秒以下のシーンは分割できません。**
- **ディスクの残量がなくなると、分割できなくなることがあります。**
  この場合は、不要な映像を削除してください。

複数の動画を結合する

複数の動画を一つにまとめることができます。1度分割した動画を結合して元に戻すこともできます。
結合するには、必ず複数の動画を選択してください。

1. 複数のシーンを範囲選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2. を押して「シーン情報」を選択し、を押して、シーン編集に関するメニューを表示します。

3. を押して「結合」を選択し、「決定」ボタンを押します。

選択した動画がひとつに結合され、サムネイル表示に戻ります。結合前の最初の動画の最初の場面だけが表示されています。

hint ヒント hint

- **元の動画にメモをつけていた場合は、結合後の動画に同じメモがついています。異なるメモをつけていた場合は、先頭の動画のメモが引き継がれます。**
- **特殊効果は、選択範囲の先頭の動画のインの効果と、最終の動画のアウトの効果が引き継がれます。**
- **静止画をはさんだ動画同士で結合したい場合には、いったん結合したい動画だけでプレイリストを作成してから、結合してください。**

メニューを使って情報を表示する ●●●●●●●●●●●●

シーンの記録日時や記録時間、あるいは設定したメモや特殊効果などの情報を表示できます。

1. シーンを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

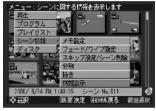
2. ◉ を押して「シーン情報」を選び、◉ を押して、シーンの編集に関するメニューを表示します。

3. ◉ を押して「情報表示」を選び、「決定」ボタンを押します。

そのシーンの詳しい情報が表示されます。
「キャンセル」ボタンを押すと、サムネイル表示に戻ります。

hint ヒント hint

- **シーンを選択し、「画面表示」ボタンを押しても上記と同様の情報が表示されます。**
- **◉、◉ を押すと、前後のシーンの情報が表示されます。**

複数のシーンを選択していたときは、右図のような情報が表示されます。

▶▶ お願い ◀◀

- **一度記録したシーンの記録日時は変更できません。**
- **シーンの記録時間は、1 秒単位で表示されます。**

新しいプレイリストを作る

1. プレイリストに追加したいシーンのサムネイルを表示します。

特定の日のシーンから作成する場合は､「プログラム選択」(☞ P.100）で、その日のシーンだけを表示します。

あとから別の日のシーンを追加したり、不要なシーンを解除することもできます。

追加できるシーンは、すべてのプレイリストの合計で 999 個までです。

2.「メニュー」ボタンを押して､ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

3. ▼ を押して「プレイリスト」を選択し､▶ を押して、プレイリストに関するメニューを表示します。

4.「編集」が反転表示されているので､「決定」ボタンを押します。

プレイリストの選択メニューが表示されます。

5.「新規作成」が反転表示されているので､「決定」ボタンを押します。

プレイリストの作成画面が表示され､メニューを表示する前に表示していたサムネイルのシーンが上段に表示されます。下段が、これから作成するプレイリストの内容になります。

作成したプレイリストには､No.1～No.99までの通し番号がつきます。

6. ◐ を押して上段のシーンを選び、「決定」ボタンを押すと、下段に追加されます。

これを繰り返してプレイリストにシーンを追加してください。プレイリストでは追加した順番でシーンが再生されます。

7. 使用するシーンをすべて追加したら、「キャンセル」ボタンを押します。

作成したプレイリストが登録されて、サムネイル表示されます。

このサムネイル表示画面から、プレイリストの再生や編集を行なえます（☞P.121）。

hint ヒント hint

- **プレイリストのサムネイル表示から戻るには、ディスクナビゲーションのメニューを表示し、「プログラム」→「選択」を選んで、「全プログラム」または特定のプログラムを選びます。**
- **プレイリストには、作成順に通し番号がついています。プレイリストにタイトルをつける前は、本機に設定されている日付による作成日がプレイリストのタイトルになっています。プレイリストを作成後、本機で日付や時刻を変更し、たとえ日時を戻したとしても、その後に撮影する映像・画像は次のプログラムとなります。**

▶▶ お願い ◀◀

- **ディスクの残量がなくなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。**

プレイリストにシーンを追加する

1. プレイリストに追加したいシーンのサムネイルを表示します。

特定の日のシーンを追加する場合は、「プログラム選択」（☞ P.100）で選択しておきます。

2.「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

3.「プレイリスト」→「編集」の順に選択し、「決定」ボタンを押します。

プレイリストの選択メニューが表示されます。

4. シーンを追加したいプレイリストの番号を選び、「決定」ボタンを押します。

プレイリストの編集画面が表示され、メニューを表示する前に表示していたサムネイルのシーンが上段に、選択したプレイリストが下段に表示されます。

5. 途中にシーンを挿入する場合は、▼ を押してカーソルを下段に移し、◀、▶ を押して挿入位置を選びます。

》 シーンを解除するには、「決定」ボタンを押してください。

6. 挿入位置を指定したら、▲ を押してカーソルを上段に戻し、◀、▶ でシーンを選んで「決定」ボタンを押します。

選んだシーンが下段の挿入位置に追加されます。

7. 同様の手順で、目的のシーンをすべて追加したら、「キャンセル」ボタンを押します。

編集後のプレイリストがサムネイル表示されます。

再生・編集するプレイリストを選ぶ ●●●●●●●●●●●

作成したプレイリストを再生したり編集するときは、まずそのプレイリストを選択し、サムネイル表示します。再生時には再生時に使用できるすべてのボタンを使用できます。

1.「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2.「プレイリスト」→「選択」の順に選択し、「決定」ボタンを押します。

プレイリストの選択メニューが表示されます。

3. 選択したいプレイリストを選び、「決定」ボタンを押します。

選択したプレイリストがサムネイル表示されます。

▶/II を押すと、選択されているプレイリストの全シーンが再生されます。

●プレイリストを再生する

プレイリストを選択して、再生（☞ P.104）、リピートプレイ（☞ P.104）、スライドプレイ（☞ P.105）が行なえます。各再生手順は、全プログラムまたは特定のプログラムの選択時と同じです。再生中には、すべての再生用ボタンを使用できます。

●プレイリストを編集する

表示中のプレイリストに対して、以下の操作を行なえます。

プレイリストに対する操作

タイトルをつける ☞ P.122

プレイリストを削除する ☞ P.123

プレイリスト内の個々のシーンに対する操作

シーンをプレイリストから解除する ☞ P.106

スキップを設定／シーンを解除する ☞ P.107、108

メモを付ける ☞ P.109

特殊効果を付ける ☞ P.112

分割する ☞ P.114

結合する ☞ P.115

プレイリスト内の個々のシーンに対する操作方法は、プログラムに対する操作方法と同じです。
ただし、プレイリスト上で設定した情報は、そのプレイリスト上でだけ有効で、元のシーンは一切影響を受けません。したがって、プレイリストからシーンを解除しても、元のシーンがなくなるわけではなく、そのプレイリストに含まれるだけです。また、元のシーンに設定されていた情報は引き継がれますが、プレイリスト上で変更することもできます。

プレイリストにタイトルをつける

プレイリストにタイトルをつけることができます。プレイリストのタイトルは、ディスクナビゲーション画面に表示されるほか、プレイリスト選択時のメニューに、作成日時に代わり表示されます。

1. プレイリストを選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2.「プレイリスト」→「タイトル設定」の順に選択し、「決定」ボタンを押します。
タイトルの設定画面が表示されます。

タイトルの設定画面は、メモの作成／編集画面と同じです。p.109「メモを付ける」と同じ手順でタイトルを入力してください。

プレイリストの作成日時がタイトルとして設定されています。不要な場合は「クリア」で消してください

3. タイトルを入力したら、「登録」を選んで「決定」ボタンを押します。

4. 確認のメッセージに対して「はい」を選んで「決定」ボタンを押します。
プレイリストのサムネイル表示に戻ります。

hint ヒント hint

- 登録したタイトルは、同じ手順でいつでも変更できます。

4 ディスクナビゲーションの使いかた

プレイリストを削除する

1. プレイリストを選択して、「メニュー」ボタンを押してディスクナビゲーションのメニューを表示します。

2.「プレイリスト」→「削除」の順に選択し、「決定」ボタンを押します。

確認の画面が表示されます。

3. 本当に削除してよい場合は、「はい」を選んで「決定」ボタンを押します。

表示していたプレイリストが削除され、全プログラムのサムネイル表示に戻ります。

確認の画面が表示されたときに、「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「キャンセル」ボタンを押すと、削除を取り止めることができます。その場合は、表示していたプレイリストのサムネイル表示に戻ります。

メッセージが表示されたとき

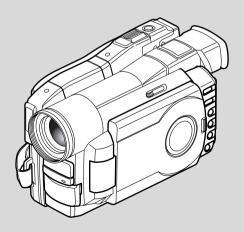
操作の途中でメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。

メッセージ	原　因	対処方法
管理情報エラーが発生しました	・記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。	管理情報更新を行なってください（☞ P.136）。
	・ディスクが汚れているなどの可能性があります。	ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクエラーが発生しました	・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。	ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
	・ディスクが汚れているなどの可能性があります	ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
登録シーンが全て解除されたため、編集されたプレイリストを削除しました	プレイリストのシーンをすべて解除しました。	——
カートリッジがライトプロテクトされています ライトプロテクトを解除してからご利用ください	——	カートリッジのライトプロテクトを解除してください。
バッテリが消耗しています バッテリを交換してからご利用ください	——	充電したバッテリに交換してください。
結合するシーンが複数選択されていません シーンを複数選択してから結合してください	——	結合したいシーンを 2 シーン以上範囲選択してから結合してください。
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません	——	動画のみを選択してから結合してください。
登録可能なシーン数を超えています 分割できません	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。	別のシーンをいくつか削除（解除）してください。

メッセージ	原　因	対処方法
登録可能なシーン数を超えています シーンを登録できません	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。	別のシーンをいくつか解除してください。
シーンを解除できません	分割などの編集を行なったシーンを解除する際に起こる可能性があります。	分割したシーンを結合してから解除してください。
シーンを削除できません	分割などの編集を行なったシーンを削除する際に起こる可能性があります。	分割したシーンを結合してから削除してください。
このディスクにはサムネイルを表示できないシーンがあります サムネイル生成のために管理情報を追加しますか？	本機以外の機器で編集されたディスクを使用したり、本機で結合などの編集を行なうと、プログラムやプレイリストの先頭のサムネイルを表示できなくなる場合があります。	確認画面で「はい」を選択してください。ディスクナビゲーション起動後に必要に応じて自動的にサムネイルを生成します。
いくつかの管理情報を追加できませんでした	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しているため、サムネイル生成用の管理情報を追加できません。	いくつかのシーンを結合するか、削除（解除）してください。
このディスクは初期化されていません 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？	本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。
ディスクにエラーを検出しました 初期化を試みることが可能です ディスクを初期化すると、記録されている映像は全て消去されます 初期化しますか？	パソコンなどで初期化中に中断したディスクではありませんか？	
ディスクエラーが発生しました ディスク初期化できませんでした	ディスクが汚れているなどの可能性があります。	ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクエラーが発生しました 使用中のディスクを入れたまま電源を入れ直してください	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。	使用中のディスクを本機に入れたまま電源を一旦切り、ACアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。

メッセージ	原　因	対処方法
ディスク残量が不足しているため実行できません	――	不要な映像を削除してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクが高温のため処理を継続できません しばらく間をおいてから実行してください	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクに記録されたデータを読み書きできない可能性があります。	電源を切って、しばらくお待ちください。 風通しの良いところに置くと効果的に温度を下げることができます。
① 映像ファイルの一部　にエラーを検出しました。映像ファイルを修復します。	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリストの作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復を行ないます。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます。(ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません)	画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 ・電源が切られたタイミングよっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の部分削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行なわれるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ③の場合のみ）。
② 映像ファイルにエラーを検出しました。映像ファイルを修復します。よろしいですか？		
③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。さらに全体修復を試みることが可能です。処理に時間がかかる場合がありますが、実行しますか？		
ＡＣアダプターを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。	手元にＡＣアダプター／チャージャーがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、ACアダプター／チャージャーを接続してから行ないます。
映像ファイルの修復に失敗しました ディスクを交換するか、ディスクの初期化を行ってください	修復しようとしているディスクに異常が発生しました。	ディスクを初期化してからご利用になるか、ディスクの反対面か、別のディスクをお使いください。

ビデオカメラを設定する

5

操作音を消す／鳴らす

本機は、電源入／切、録画ボタンを押したときなどに、操作音がなるようになっています。必要がない場合は、操作音を消すことができます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「操作音」の順に選択します。

選択肢が表示され､「ON」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「OFF」に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他設定のメニューに戻り､「操作音」が「OFF」に変わっています。

4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●操作音について

操作音	操作音の回数	操作音	操作音の回数
電源スイッチ　ON	1	外部入出力静止画記録時	1
電源スイッチ　OFF	2	ディスク認識完了時	2
取り出し動作完了時	2	PC 接続完了時	1
取り出しボタン受付可能時	1	PC 接続終了時	1
録画ボタン受付時	1	ディスクナビゲーション初期化確認画面表示	1
動画記録終了時	2	ディスクナビゲーションシーン削除画面表示	1
フォトショットボタン半押し時	2	ディスクナビゲーション管理情報更新表示	1

パワーセーブを解除する／時間を変更する

本機は、記録一時停止状態が約5分間続くと、自動的に電源が切れてバッテリーの消耗を防ぐようになっています。頻繁に電源が切れてわずらわしい場合は、自動的に電源が切れるまでの時間を約30分に変更することができます。また、長期間使用しない場合にバッテリーパックを使い切りたいときは、パワーセーブを解除することもできます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「パワーセーブ」の順に選択します。

選択肢が表示され、「ON:5」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「ON:30」（約30分後に電源切）または「OFF」（パワーセーブ解除）に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他設定のメニューに戻り、「パワーセーブ」が「ON:30」または「OFF」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

パワーセーブの設定は、画面情報には表示されません。また、パワーセーブの設定は、電源を切っても変わりません。ビデオカメラを使い終わったら、次回使用時に不用意にバッテリーが消耗しないよう、約5分後に電源が切れるように 設定を戻しておくことをお勧めします。

日付と時刻の表示方法を変更する

日付の表示方法を、「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」のどれかに変更できます。選択した日付の表示方法に応じて、時刻の表示方法も変わります。日付と時刻の表示方法は、次のような組み合わせになります。

表示フォーマット	日付の表示方法	時刻の表示方法
Y/M/D	年/月/日	AM/PM0:00
M/D/Y	月/日/年	0:00AM/PM
D/M/Y	日/月/年	0:00(24時制)

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「日付設定」→「日付モード」の順に選択します。

選択肢が表示され、「Y/M/D」(現在の表示方法)が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して表示方法を変更し、選択ダイヤルを押します。

日付設定のメニューに戻り、「日付モード」が設定した表示方法に変わっています。

4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

すべての設定を初期設定に戻す

カメラメニューのすべての設定を初期状態（工場出荷時の設定値）に戻すことができます（日付・時刻設定は戻りません）。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「設定リセット」の順に選択します。

「戻る」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「する」を選び、選択ダイヤルを押します。

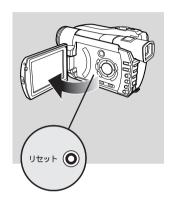
「その他設定」のメニューに戻ります。この時点で、すべての設定項目は初期状態になっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行なうと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1. ビデオカメラの電源を切り、バッテリーパック・ACアダプター／チャージャーを外します。

2. 先の細いものなどでリセットボタンを数秒間押します。

●設定項目一覧

	設定項目	設定値	設定方法
カメラ機能	フラッシュ	AUTO/ON/OFF	P.83
	ホワイトバランス	AUTO/HOLD	P.77
	手振れ	ON/OFF	P.71
	デジタルズーム	ON/OFF	P.65
記録モード	動画モード	FINE/STND	P.75
	外部静止画入力	フィールド / フレーム	P.143
	セルフ／インターバル	OFF/ セルフタイマー / インターバル（0:30 ～ 5:00）	P.84、P.86
	マイクフィルター	OFF/ON	P.79
その他	操作音	ON/OFF	P.128
	パワーセーブ	OFF/ON:5/ON:30	P.129
	入力切替	カメラ /LINE	P.141
	外部出力画面表示	LINE ON/LINE OFF	P.142
日付	日付の表示方法	Y/M/D / M/D/Y / D/M/Y	P.130
	日付セット	2000/1/1/AM/0:00	P.51

※ [網掛け] は初期値です。

DVD-RAM ディスクの残り記憶容量を確認する

ディスク片面に、あとどのくらい撮影できるかを確認できます。

1. 記録一時停止状態のときに「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

2.「メニュー」ボタンを押します。

ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。

3. を押して「ディスク」を選択し、を押してディスクに関するメニューを表示します。

4.「残量表示」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

ディスクの残量が表示されます。

hint ヒント hint

- **ライトプロテクトされたディスクでは、残量が「0」と表示されます。**
- **カメラ撮影モードでの残量表示でも確認できます（☞ P.60）。**

5.「キャンセル」ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

DVD-RAM ディスクを初期化する

初期化されていないAV用途のDVD-RAMディスクを使用する場合は、ディスクを初期化する必要があります。また、すでに撮影済みのディスクの内容をすべて消去してディスクを再利用したい場合にも、内容を削除するのではなく、初期化してから再利用することもできます。

▶▶ お願い ◀◀

- **DVD-RAM ディスクを初期化すると、記録された動画・静止画はすべて消去されます。誤って初期化してしまわないようお気をつけください。**
- **DVD-RAM ディスクを初期化するときは、途中で電池が切れないように、必ず AC アダプター／チャージャーを使用してください。**
- **傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません。**

1. 初期化する面を外側（グリップベルト側）にして DVD-RAM ディスクを入れ、ビデオカメラの電源を入れます。

2. ディスク認識終了後「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

3.「メニュー」ボタンを押します。

ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。

4. ◉ を押して「ディスク」を選択し、◉ を押して、ディスクに関するメニューを表示します。

5. ◉ を押して「ディスク初期化」を選択し、「決定」ボタンを押します。

確認のメッセージが表示されます。

6.「はい」を選択して、「決定」ボタンを押します。

DVD-RAM ディスクの片面の初期化が終了すると、記録一時停止状態に戻ります。

続けて反対側の面を初期化するときは、ディスクを裏返して手順 2 から繰り返してください。

▶▶ お願い ◀◀

初期化する場合は、ディスクナビゲーション画面で記録されている内容を再度確認してから、初期化してください（☞ P.98）。

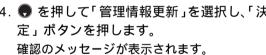
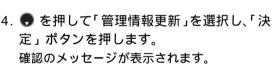
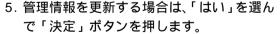
管理情報を更新する

本機のディスクナビゲーションでは、シーンに関する情報が独自の方法で管理されています。本機で記録したDVD-RAMの映像データを他の機器などで編集してしまうと、この管理情報に不整合が起こり、ディスクナビゲーションで正しく再生できなくなる場合があります。その場合は、管理情報を更新すると、またディスクナビゲーションで再生できるようになります。ただし、管理情報を更新すると、映像に設定していた情報（メモ・スキップ・フェードなど）はすべて失われます。また、管理情報更新は、記録されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
電源は必ず AC アダプター／チャージャーを使用してください。

1. 記録一時停止状態のときに「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

2.「メニュー」ボタンを押します。
ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。

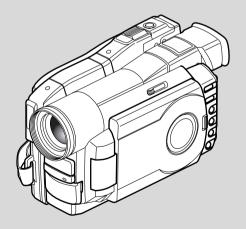
3. ● を押して「ディスク」を選択し、● を押してディスクに関するメニューを表示します。

4. ● を押して「管理情報更新」を選択し、「決定」ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。

5. 管理情報を更新する場合は、「はい」を選んで「決定」ボタンを押します。
更新中のメッセージが表示されたあと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。

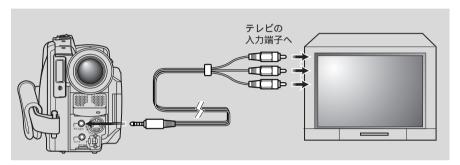
確認の画面が表示されたときに、「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「キャンセル」ボタンを押せば、管理情報の更新を取り止めることができます。

他の機器との接続

本機をテレビなどのAV機器に接続したり、DVD-RAMディスクのデータをパソコンに取り込む方法を紹介します。

テレビで見る

本機をテレビにつないで、撮影した映像や撮影中の映像を見ることができます。ディスクナビゲーションを使った編集や再生時にも便利です。

テレビにつなぐ

付属の AV 入出力ケーブルを使って本機とテレビを下の図のように接続します。

▶▶ お願い ◀◀

- **接続する前に、必ずテレビの音量が下がっていることを確認してください。再生を停止するときもカメラをテレビから離してから操作してください。**
- **付属の S 端子ケーブルを使って接続することもできます。**
- **AV 入出力ケーブルはななめに差し込むと端子を破損するおそれがあります。まっすぐに差し込んでください。**

テレビで見る

1. テレビの電源を入れ、入力切替を「ビデオ」にします。

テレビの入力切替の方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

2. 本機の電源を入れます。

本機の映像がテレビに表示されます。同時に本機の液晶画面またはビューファインダーでも映像を確認できます。

3. 再生や撮影を行ないます。

音量の調整はテレビ側で行なってください。

hint ヒント hint

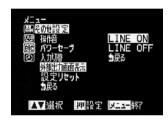
- **テレビで見ながら操作するときはリモコンを使うと便利です。**

画面情報を消す

ビューファインダーや液晶画面に表示される画面情報をテレビに表示しないようにできます。
リモコンの「表示出力」ボタンでも、同様に設定が切り換えられます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「その他の設定」→「外部出力画面表示」の順に選択します。

選択肢が表示され、「LINE ON」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「LINE OFF」に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他のメニューに戻り、「外部出力画面表示」が「LINE OFF」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

テレビに画面情報が表示されていないときは、ビューファインダーまたは液晶画面で情報を確認してください。

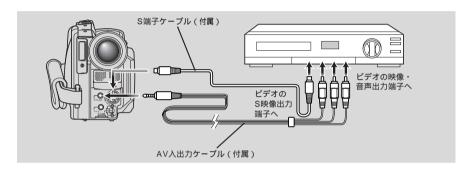
▶▶ お願い ◀◀

- **外部出力画面表示を「LINE OFF」に設定しても、再生時の画面情報は表示されます。**

他の AV 機器からの映像を録画する

これまでのビデオテープに録画した映像などの再生映像を、本機の外部入力に入力することで DVD-RAM ディスクに録画しなおすことができます。

他の AV 機器と接続する

付属の AV 入出力ケーブルまたは S 端子ケーブルを使って、本機と他の AV 機器を下図のように接続します。

▶▶ **お願い** ◀◀

- **接続する前に、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。**
- **AV 入出力ケーブルと S 端子ケーブルの両方が接続された場合の映像入力は、S 端子ケーブルが優先となります。**
- **本機でカメラ撮影する場合は、AV 入出力ケーブルや S 端子ケーブルを他の機器の出力端子に接続しないでください。他の機器の音声が本機にもれることがあります。**
- **映像を入力せずに動画、静止画を記録することはできません。**

他のビデオカメラや他の AV 機器から録画する

1. 本機を接続後、電源を入れます。

2. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

3. 選択ダイヤルで「その他設定」→「入力切替」の順に選択します。

選択肢が表示され、「カメラ」が反転表示されています。

4. 選択ダイヤルを回して「LINE」に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他のメニューに戻り、「入力切替」が「LINE」に変わっています。

電源を切ると「入力切替」は「カメラ」に戻ります。

5. 「メニュー」ボタンを押して、記録一時停止状態に戻ります。

入力切替が切り換わったことは画面情報で確認できます。

6. 接続した機器の電源を入れ、映像の再生を開始します。

本機の液晶画面に映像が映ります。

7. 本機で録画します。

録画するときの操作方法は、ビデオカメラで撮影するときと同じです。

動画を録画するだけでなく、記録モードを切り換えて静止画を撮ることもできます。ただし、「フォトショット」ボタンの半押しは無効になります。

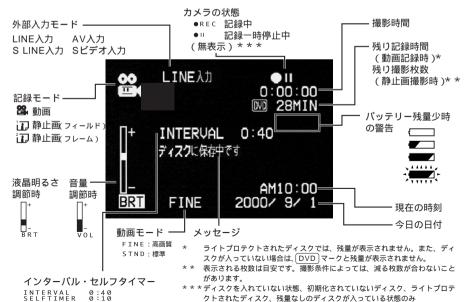
録画内容は、カメラで撮影されたシーンと同様に再生することができます。ただし「入力切替」を「LINE」にしたまま再生すると、テレビに映像と音声が出ません。

▶▶ お願い ◀◀

- 個人でビデオカメラにより撮影した映像以外は、ほとんどの場合が著作権保護のための複製禁止信号（コピーガード信号）により録画が禁止されています。本機では録画できません。
  DVDビデオ・LD・セルビデオ・レンタルビデオ・デジタル衛星放送などが著作権保護された代表的な映像です。
- 個人でビデオカメラにより撮影した映像など複製禁止信号のない映像であっても、以下の場合は本機で記録できません。
  早送り、巻き戻し中や一時停止などの映像信号
  ビデオテープでのつなぎ撮り部分
  ダビングを繰り返した映像やノイズの多い映像信号
  TVゲームやパソコンなどからの映像信号
  本機（NTSCカラーTV方式）とは違うTV方式の映像信号
- 記録中はテレビなどのチャンネルを切り換えたり、ビデオスイッチャーなどで信号を切り換えないでください。
- 記録中に入力信号が途切れたり、なくなったりすると正常に記録できません。
- 他のAV機器から録画した映像をパソコンに取り込んで再生すると、映像の左端や右端が黒く欠けたり、上端や下端にノイズが出ることがあります。

外部入力映像表示時の情報

ビューファインダーや液晶画面には、他の機器からの映像に重なって、次のような情報が表示されます。

＊　ライトプロテクトされたディスクでは、残量が表示されません。また、ディスクが入っていない場合は、DVD マークと残量が表示されません。
＊＊　表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、減る枚数が合わないことがあります。
＊＊＊ディスクを入れていない状態、初期化されていないディスク、ライトプロテクトされたディスク、残量なしのディスクが入っている状態のみ

静止画の記録方法を変更する

外部入力映像の静止画を撮るときの記録方法を 2 通りに切り換えられます。
動きの少ない映像は「フレーム」で撮ることもできますが、動きのある映像を撮影するときは「フィールド」モードをお勧めします。

- フレーム：高画質ですが、動きの多い画像の記録には適しません。動きの少ない画像の記録に適しています。
- フィールド：動きの多い画像の記録に適しています。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「記録モード設定」→「外部静止画入力」の順に選択します。

選択肢が表示され、「フィールド」が反転表示されています。

3. 選択ダイヤルを回して「フレーム」に変更し、選択ダイヤルを押します。

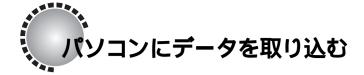
記録モードのメニューに戻り、「外部静止画入力」が「フレーム」に変わっています。

4.「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●静止画の記録方法を確認する

外部入力映像の静止画の撮影方法は、画面情報で確認できます。

外部入力映像の静止画の撮影方法は、一度変更すると、再度変更するまで、電源を切っても変わりません。

パソコンにデータを取り込む

本機で記録したデータをパソコンで取り込むためには、いくつかの方法があります。

●オプションのDVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）を使用する場合

オプションのDVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）を使用することで、本機で撮影した動画、静止画をWindows98[注1)] パソコンで活用、お楽しみいただけます。

撮影した静止画を活用する

本機は、静止画を撮影した際にテレビで見るための静止画（MPEG2画像　704×480画素）とパソコンでご利用いただくための静止画（JPEG画像　1280×960画素）の2種類の画像をディスク上に記録します。DVDビデオカメラ用パソコン静止画キットを使用して、パソコンでご利用いただくための静止画を取り込むことができます。

注1）パソコンの種類は個人で組み立てたものを含め、極めて多くの種類があります。動作の確認がとれたパソコンに関しましては互換情報をインターネット上で随時更新してまいります。お使いのパソコンがDVDビデオカメラ用パソコン静止画キットの使用が可能かどうかは、インターネット上の情報をご覧ください。

パナソニックビデオ / ビデオカメラのホームページ:
Panasonic　VIDEO HOME PAGE
http://www.panasonic.co.jp/avc/video/

▶▶お願い◀◀

- **DVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）をご利用いただけるパソコンはWindows98　を使用したIBM PC／A T互換機だけです。**

● DVD-RAM ドライブ、DVD-ROM ドライブ付きパソコンの場合

4.7GB の DVD-RAM ディスク対応かつ 8cm ディスク対応の DVD-RAM ／ ROM ドライブ付きパソコンで、UDF2.01 に対応したファイルシステムが入っている場合は、OS の種類に関係なく、本機で記録したディスクをカートリッジから取り出して、データを読むことができます。

撮影した静止画を活用する

静止画はJPEG画像（1280×960画素）としてディスクに記録されています。JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

撮影した動画を活用する

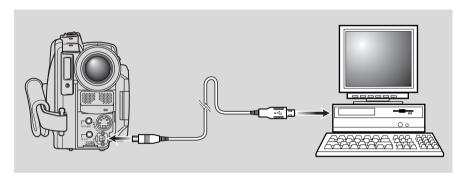
動画はDVDビデオレコーディング規格に準じて記録されています。DVDビデオレコーディング規格に準じたアプリケーションソフトでお楽しみください。

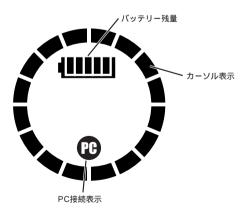
▶▶ お願い ◀◀

- PC接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源はACアダプター／チャージャーをお使いください。
- DVDビデオカメラ用パソコン静止画キットに入っているPC接続ケーブルは本機専用です。市販のUSBケーブルは使用できません。
- パソコンと接続するときは、AV入出力ケーブルなど、他のケーブルを外してください。
- 動作中ランプが点灯または点滅しているときは、PC接続ケーブルを抜かないでください。ディスク内のデータが壊れることがあります。
- カメラ内のディスクにあるファイルやフォルダを操作する場合は、PC接続キットの取扱説明書をよくお読みください。
- パソコンとの接続は室温で行なってください。35℃以上の環境で動画のファイルを数十分間転送すると読取りエラーの原因となることがあります。
- 以下の場合は動作の保証をいたしませんのでお気をつけください。
  - ・USB拡張ボードで追加されたUSBポートをお使いのとき
  - ・USBハブを使用してお使いのとき
  - ・DVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）の同梱ケーブル以外のケーブルで接続したとき
  - ・DVD-RAMドライブが装備されたパソコンをお使いのとき

- **すでにDVD-RAMドライブが装備されたパソコンをお使いの場合は、お使いのUDFファイルシステムをDVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）に含まれるUDF2.01ファイルシステムに変更してください。**

パソコンと接続する

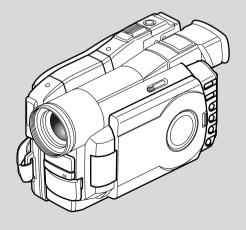
別売りのDVDビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）に入っているPC接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下の図のように接続します。本機の電源は切っておいてください。

● 情報液晶画面の表示について

パソコンと接続しているときは、本機の3.5型液晶画面およびビューファインダーは表示されません。液晶画面を閉じて本機の情報液晶画面の「PC接続表示」でご確認ください。

記録したデータの互換性について

DVD-RAMディスクに記録したデータの互換性について、以下のことにお気をつけください。

- DVD レコーダーやパソコンに本機で記録した DVD-RAM ディスクを入れて編集する場合、不要な映像を消去するときは、複数のシーンが１つのシーンになっている場合がありますので、削除するシーンを確認してから行ってください。
- 本機で映像に設定した内容は、他の機器では再生されない場合があります。同様に、他機で設定された内容は、本機では再生できない場合があります。
- 本機で作成されたプレイリストやメモ、タイトルなどは、他機では正常に使用 / 表示できない場合があります。
- 本機で記録したディスクは、他機ではなめらかに再生できない場合があります。

参　考

別売品の紹介

電　源

バッテリーパック（VW-VBD25）
7.2V／2800mAh

バッテリーパック（VW-VBD33）
7.2V／1500mAh

ディスク

8cm DVD-RAMディスク（VW-HB28）

その他

DVD ビデオカメラ用パソコン静止画キット（VW-DTD1）
近日発売予定 2000 年 11 月現在

お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶画面やレンズの汚れは

乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶画面をふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶画面が壊れるおそれもあります。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

本体ケースの塗装がはげたり、変質することがあります。本体ケースの汚れは、水で固く絞った布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

ビューファインダーのレンズにゴミが付着したときは

綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。ACアダプター／チャージャーはAC100～240V・50／60Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

＊ACアダプター／チャージャーは、全世界の電源電圧(AC100～240V)、電源周波数(50/60Hz)でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

●コンセントの形状と変化プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
形状	主に北米・南米・グアム・サイパン	イギリスなど	エジプトなど	主にヨーロッパ	主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC 方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属の AV 入出力ケーブルを使って接続することができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC 方式）を採用している国または地域（五十音順）

●アメリカ合衆国
●アンチグア･バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー･ネイビス
●セントビンセント･グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード･トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

・本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

メッセージが表示されたら

メッセージ	考えられる原因	対処方法
記録はできません	本機に入力されている映像の信号にコピーガードがかかっている可能性があります。	映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。
このディスクには記録できません	本機で使用できないディスクが入っているか、DVD-RAMディスクが書き込み禁止になっています。	ディスクの種類が正しいか、確認してください。DVD-RAMディスクが書き込み禁止になっていないか、確認してください。
ディスクが初期化されていません	DVD-RAMディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。	このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。本機で使用したDVD-RAMディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化すると、ディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。このメッセージが表示されたら、一度初期化してみてください。それでも同じメッセージが表示される場合は、DVD-RAMディスクが壊れている可能性があります。別のDVD-RAMディスクを使用してください。
ディスクに保存中です	撮影した映像をDVD-RAMディスクに保存しています。	しばらくお待ちください。メッセージが消えたら、使用を開始できます。
ディスク残量がなくなりました	DVD-RAMディスクがいっぱいになりました。	これ以上録画することはできません。どうしてもこのディスクに録画したい場合は、不要な映像を削除してください。
ディスク残量がなくなります	DVD-RAMディスクがまもなくいっぱいになり、録画できなくなります。	ディスクを交換してください。

メッセージ	考えられる原因	対処方法
ディスク認識中です	正しいDVD-RAMディスクが入っているか、本機がチェックしています。	しばらくお待ちください。メッセージが消えたら、使用を開始できます。日付が変わったときには、このメッセージが少し長く表示されます。
ディスクを入れて下さい	DVD-RAMディスクが入っていません。	DVD-RAMディスクを入れてください。
	ビデオカメラまたはDVD-RAMディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと、このメッセージが表示されることがあります。	カメラのレンズまたはDVD-RAMドライブで露付きが発生しています。ディスクを入れたまま、電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1～2時間以上放置してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも具合が悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.162 をご覧ください。

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
電源について	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？	バッテリーパックを充電してください。	38
	電源を入れると、液晶画面がついたり消えたりする			
	途中で電源が切れる	電源を入れたまま、撮影や再生をせずに 5 分以上経過しませんでしたか？	本機は、電源を入れたまま、撮影せずに 5 分以上経過すると、自動的に電源が切れるようになっています（パワーセーブ）。自動的に電源が切れるまでの時間を長くしたり、パワーセーブを解除することもできます。	129
	電源が切れない	——	バッテリーパックまたは AC アダプター／チャージャーを抜いてください。この場合、ディスクは取り出せません。バッテリーパックまたは AC アダプター／チャージャーを差したまま、再度電源を入れてください。	—
	液晶画面またはビューファインダーに映像が出ない	PC 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？	PC 接続ケーブルを抜いてください。	147
		ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませか？	ディスクナビゲーションボタンを押してください。	112

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	バッテリーパックがすぐになくなる	温度が極端に低い場所で使用しませんでしたか？	バッテリーは周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは使用時間が短くなります。 また、温度の低いところでは満充電表示にならない場合や使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。 低温の場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	39・42
		バッテリーパックの寿命も考えられます。	バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	42
	バッテリーパックが充電されない	充電するときにACアダプター／チャージャーのPOWERランプが点灯・点滅していましたか？	バッテリーパックがACアダプター／チャージャーにきちんと取り付けられていない可能性があります。バッテリーパックをいったん外し、取り付けなおしてください。きちんと取り付けてもPOWERランプが点滅する場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	38
		ACアダプター／チャージャーにDCパワーコードが接続されていませんか？	DCパワーコードを外してください。	
		バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？	バッテリーパックを取り付ける向きを確認し、いったん外してから取り付けなおしてください。	

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	充電するときにACアダプター／チャージャーのCHG.・80・100%ランプが点滅する	バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？	バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。	40
		周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？	充電は気温が10～30℃の環境で行なってください。	
	充電するときにACアダプター／チャージャーのPOWERランプが点滅する	長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？	いったんバッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。それでも充電されない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	42
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	記録モードが静止画になっていませんか？	静止画モードになっていると、「録画」ボタンを押しても録画できません。動画モードに切り換えてください。	64
		入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？	コピーガードがかかっている映像は、本機では録画できません。	142
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？	ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	37
		他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していますか？	AVセレクタなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	140

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？	テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	142
	液晶画面が見にくい	液晶画面の明るさは調節しましたか？	撮影や録画をいったん停止し、液晶画面の明るさを調節してください。	59
		屋外で使用していますか？	ビューファインダーをお使いください。液晶画面をお使いになる場合は、液晶画面に直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	58
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？	手動でピントを合わせてください。	63、72
		「FOCUS」と表示されていませんか？	マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	72
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？	視度調節をしてください。	57
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れなおしてください。		
再生時	ディスク認識が終了しない	ディスクが汚れていませんか？	柔らかい乾いた布でお手入れしてください。	—
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？	本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	136
		ディスクナビゲーション以外で映像を編集しませんでしたか？	ディスクナビゲーション以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	136

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？	テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」（LINE）にしてください。	138
		テレビと正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	
		本機の入力切替を「LINE」にしていませんか？	「カメラ」モードに変えてください。	141
	再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？	ディスクをクリーニングしてください。	37
	再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHSや8mm）からのAV入力映像を録画した映像ではありませんか？	再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	142
	再生映像にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？	記録モード設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	143
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？	テレビの音量を調節してください。音量は、テレビ側で調節してください。	139

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？	ノイズや乱れのない映像を録画してください。	―
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作が受け付けられない	――	バッテリーパックおよびACアダプター／チャージャーを外し、先の細いものなどでリセットボタンを数秒間押し続けてください。その後、バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを取り付けて操作してみてください。また、リセットすると日付と時刻、およびメニューで設定する各項目がすべて初期値に戻るので、日付と時刻を設定し直す必要があります。各設定項目も、必要に応じて設定し直してください。	132
		カメラに強い衝撃を与えませんでしたか？	本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	―
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びましたか？	内部のバックアップ電池がなくなっている可能性があります。ので、充電してください。	52
	電源を入れるたびに、日付が2000年1月1日になっている	内部のバックアップ電池を充電しましたか？		
	ディスクが取り出せない	回転は止まっていますか？	ディスクの回転が止まるまで、ディスクは取り出せません。しばらく待って、もう一度試してみてください。	49

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	ディスクが取り出せない	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプター／チャージャーを外しませんでしたか？	バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーをもう一度接続し、電源を入／切して、ディスクのロックが解除される音がしてから取り出してください。	49
	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受光部に向けていますか？	カメラの受光部に向けて操作してください。	54
		カメラの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか？	受光部に強い光が当たっていると、操作できません。カメラの置き場所や角度を調整してください。	
		リモコンに電池は入っていますか？	電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	53
		カメラの電源は入っていますか？	カメラの電源を入れてください。	57
	ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか？	ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	47
		誤った向きで挿入していませんか？		
		ロックされるところまで挿入していますか？		

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

●修理は、サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ **保証書(別添付)**

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ **修理を依頼されるとき**

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書をそえてご持参ください。

● **保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、DVD ビデオカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） 0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。（ナビダイヤルはご利用頂けません）

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251

旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151

帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477

函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

青森 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712

秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600

岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120

宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117

山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100

福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555

群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎(027)352-1109

水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249

つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756

埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)729-2102

千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034

東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5450-7431

山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(0552)22-5171

神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)840-3155

新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683

富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705

福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606

長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073

静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000

名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225

岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719

岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010

高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613

三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近　畿　地　区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	**大阪**	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**和歌山**	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-1311
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636	**奈良**	大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	**兵庫**	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中　国　地　区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲**	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島**	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田**	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口**	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050
松江	松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128	**岡山**	岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162		

四　国　地　区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	**高知**	南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	**愛媛**	松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125				

九　州　地　区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分**	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草**	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151	**宮崎**	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530	**鹿児島**	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**熊本**	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島**	名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖　縄　地　区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

仕様

デジタルビデオカメラ

電　　源	DC 8 V/7.2 V
消費電力	録画時 6.5 W(ファインダー使用時)　7.6 W(液晶使用時)

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
録画方式	動　画：DVD ビデオレコーディング規格準拠 （MPEG2 映像、MPEG 音声） 静止画：DVD ビデオレコーディング規格準拠、 および、JPEG（1280 × 960 画素）の同時記録
録画ディスク	8cm DVD-RAM ディスク (両面 2.8GB、ビデオカメラ用 カートリッジタイプ)
録画時間(ディスク両面)	動画　最大約 60 分（FINE） 最大約 120 分（STND）
記録枚数(ディスク両面)	静止画　最大 1998 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
音声再生方式	MPEG、ドルビー AC3
撮像素子	CCD 固体撮像素子(総画素 110 万画素､動画 72 万画素､静止画 100 万画素)
レンズ	自動絞り 12 倍電動ズーム F2.0 (f=4.1 ～ 49.2 mm) マクロ付き (フルレンジ AF)
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 12 倍・デジタル 48 倍
モニター	3.5 型液晶モニター(20 万画素)
ファインダー	電子カラービューファインダー
マイク	ステレオマイクロホン
スピーカー	20 mm 丸形 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	18 ルクス
S 映像出力	Y 出力：1 Vp-p 75 Ω C 出力：0.286 Vp-p 75 Ω
映像出力	1 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω
S 映像入力	Y 入力：1 Vp-p 75 Ω C 入力：0.286 Vp-p 75 Ω
映像入力	1 Vp-p 75 Ω
音声入力	316 mV　インピーダンス 10 k Ω以上
マイク入力	ステレオミニジャック 3.5mm φ 推奨マイクインピーダンス 600 Ω～ 1k Ω
デジタルインターフェース	PC 接続端子(パソコンの USB 端子へ接続)

外形寸法	幅 78 ×高さ 108 ×奥行き 166mm (レンズフード含まず)
本体質量	約 800g
使用時質量	約 960g (バッテリー：VW-VBD33 、ディスク：VW-HB28 使用時) 約 1030g (バッテリー：VW-VBD25 、ディスク：VW-HB28 使用時)
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃ ただし、パソコンとの接続時は 0 ℃～ 35 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 %
バッテリー持続時間	39 ページを参照してください。

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

この装置は第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。
しかし、本装置をラジオ・テレビジョン受信機などに近隣してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
ラジオやテレビの近くで使用した場合、電波の状況によりラジオやテレビの受信に影響を及ぼすことがあります。このようなときは、次のように処置して下さい。

● 影響が出なくなるまで、本機をラジオやテレビから十分離してお使い下さい。
● 本機は、ラジオやテレビとは別のコンセントをお使い下さい。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Pentium および Celeron は Intel Corporatoin の商標です。
IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
ドルビーラボラトリーからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、ダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-2000 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
その他、各会社名・各製品名は各社の商標または登録商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	VDR-M10
販　売　店　名	☎（　　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社
ビデオ事業部
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号
放送システム事業部
〒571－8503 大阪府門真市松葉町2番15号

QR32453